

刑政

作業品評會

功勞者之表彰

二十 月 號

刑務協會發行
財團法人

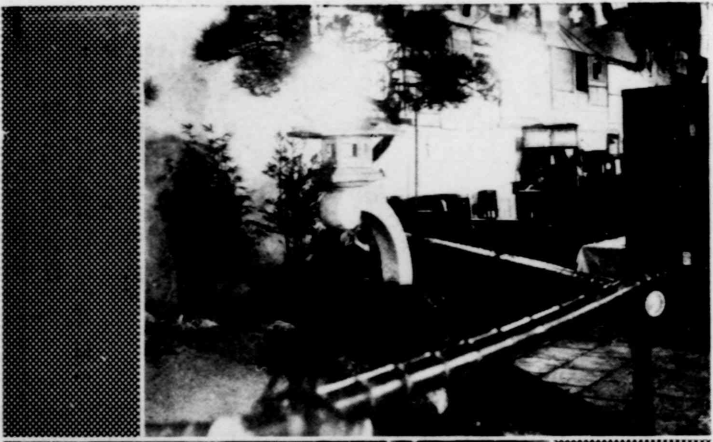
刑 政 第 參 拾 八 卷 第 拾 貳 號 目 次

行刑作業の社會化……………	卷 頭	言 (一)
大正十四年を顧みて……………	司法書記官正	木 亮 (六)
作業製品品評會由來……………	集鳴刑務所長佐	藤 乙 (二)
品評會の開催に就て……………	東京高等工藝學校教授	木 榎 恕 (一)
木工品審査概評……………	同	安 田 祿 造 (三)
圖案上より見たる出品審査概評……………	東京高等工業學校教授	齋 藤 俊 吉 (七)
纖維工藝品審査概評……………	工學博士	關 口 八 重 吉 (九)
金屬製品審査概評……………	同	同
品評會のぞき……………	本會常務理事	香 川 又 二 郎 (三)
品評會の教へた刑務作業……………	本會主事	江 村 繁 太 郎 (六)
品評會偶感……………	司法省囑託	前 田 保 靜 郎 (四)
品評會の出品を見て……………	作 業 技 師	秋 中 保 謹 四 郎 (七)
所 感 四 点……………	豐多摩刑務所作業主任	山 中 保 謹 四 郎 (七)
開會するまで……………	集鳴刑務所作業主任	山 中 保 謹 四 郎 (七)
刑務作業に關する雜感……………	本會主事	近 藤 亮 雅 (六)
天長の佳節を卜し永年勤績並皆勤者の表彰……………	本會主事	近 藤 亮 雅 (六)

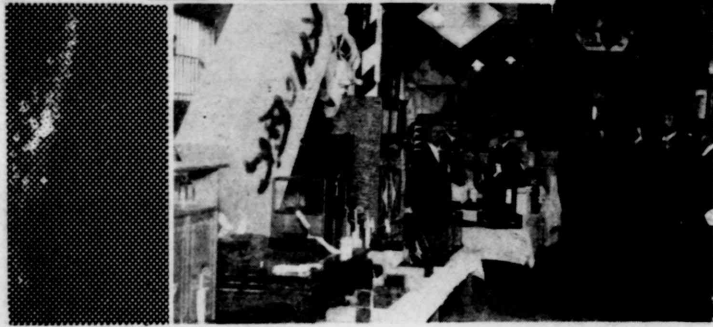
叙 任

行 刑 統 計

刑 務 令 規



十月十七日集鳴刑務所で催されたる全國刑務所製品々評會陳列會場の光景



刑務所演武大會

上圖優勝旗授與式（柔道は小菅、劍道は水戸の手に落つ）
中下圖火花散る柔劍道の試合



行刑作業の社會化

行刑作業は最早刑務所の作業ではなくなつて來ました。此れ迄の刑務所の作業とは行刑作業が累犯の特別豫防としての價値を持つて課さるゝのでなくて一般豫防的の價値換言すれば懲しめの觀念に於て課さるゝ作業を意味するものであります。かの二三年前まで我が海軍刑務所で實施して居た砲丸搬びは實に此の意味の作業でありました。けれども、懲しめの觀念に於て爲さるゝ作業がパンを得る道にどれ丈かの價値を持つてをりませうか。今日の犯罪の殆んど大部分がパンを得る道と關係があるやうに行刑作業は全力を擧げて犯人にパンを得る様に仕向けてやらねばなりません。従つて、今日の作業は犯人の趣味や、能力や、技工等と離るゝわけに行かなくなりました。茲に作業方針は最早永い間の因襲を超越せねばなりません。唯眞面目に働かせればよいとか、作業収益を擧げればよいとかといふ觀念にのみ因はれてはならなくなりしました。當局が色々な作業企劃を始めたのは正に此の点に根拠を置くのでありませう。或は作業技師の制を定め、或は製品品評會を開き、何れも從來因襲を破つて居ります。

けれども、茲に吾々が主張せねばならぬ一つの主張があります。それはパンを得る道はその勞力と所得使用の愉快との調和によつて眞に完成するものだといふ觀念に基いて所謂使用の方法を立てゝやらねばならぬことです。具体的に言へば作業賞與金を恩惠的より請求權へと開放してやらねばならぬことであります。われわれは犯人を社會の働き手として出してやります。社會の働き手は請求權の上に生きて居ります。さすれば、刑務所の作業も先づ正當なる請求權の上に生きる方法を講じてやらねばなりません。それが仍ち行刑作業の社會化であり行刑作業を活かせる方法に働かれません。一九二一年のイタリヤ刑法草案は此の根底に立つて行刑作業を社會化して居ります。わたくしは製品品評會が幾分の作業社會化であることを好しとします、けれども當局が上述の如きもつと、根本的な社會化を斷行されることを希望して止みません。（夢）

大正十四年を顧みて

吾人は時間を知覺して過去、現在、未來と云ふ、然るに嚴密に云へばどれ丈が過去にしてどれ丈が未來であるか意識する其瞬間を界とするも、瞬間と云ふ中、己に瞬間は吾人の瞬間にあらず、本年も亦現在の瞬間より將に去らんとする、顧るに大正十四年は多忙にして新しき記憶の存するものがある、此の機会に數萬の會員諸賢と共に之を追懐し又本會の希望を述べ以て年末の辭となさん。

一、會長の歐米視察

本會々長たる泉二法學博士は萬國刑務會議出席の爲五月四日横濱解纜の春洋丸で出發せられ、司法書記官岡部常氏も同行された、勿論司法當局としての要務もあらうが、本會としての代表を世界の檜舞臺へ送つた譯である、會長一行はサンフランシスコ——サクラメント——キャンサス・シティ——シカゴ——オッタワ——ボストン——ニューヨーク(六月入市)——フヒラデルフヒヤ——バルティモア——ワシントン——ピッツバ——ニューヨーク(七月出發)。ロンドン(八月出發)——オスロ——ストックホルム——……パリ——……マルセーユ發で十二月八日神戸に入港さるゝ豫定である。

二、作業技師練習所開設

監獄官制の改正により作業技師の制を定めらるゝや、多數の技師技手は任命せられた。然るに新に任命せらるゝ技師技手は技術に關する知識は勿論ありと雖、行刑に關する觀念に至りては未だ足らざる處あるは止むを得ざるべし、於茲本會は刑政に關する行政の概念を授くるの適切なるを思ひ、作業技師練習所開設の件を司法當局に建議せし處當局に於ても本會の企を適切なるものと認められ、八月十七日より約三週間教養に従事したのである。

三、武術の奨勵

武士道とは尙武の氣象を基礎とし儒教と禪とを交へ、此融合調和によりて發達せるものとて技を争ひ快を叫び粗暴の行爲に出づるものではない、若し人倫の變に臨んでは秋霜烈日の如き志氣を與へ内省して己れを律し、道徳の上に於ては最も優美なるものである。

淵に臨んで遊魚を眺め容易に獲られざるを悲しむより先づ退いて網を結ぶに如かざる如く、對人關係の教養は先づ教師の人格に待つこと自明の理である、幸ひ我國には武術なるものありて武士道の根源をなしてゐる、從來各刑務所に於ても武術の練習はなきにあらざれども、之を誘導奨勵するの道なし、故に本會は其道を啓き誘導奨勵して教師の人格訓練をなさんことを期する爲全國刑務官演武大會の試みを起した。

四、普通練習所充實

普通練習所は回を果ぬること十七回、第一回より修業せし人員約千三百人、既に刑務界より退かれた者もあらうが、大部分は刑務行政の中堅として活動せられてゐる、刑務行政の唯一なる教育機關たる練習所は、徒に量の多からんことを欲するよりも、質の良なることを求むべく、本年より入所人員を査定し、教育期間を延長することゝなれり。

刑政は縦や横や幅に延ぶべき時代は過ぎた、奥へ／＼と深きに研究を遂げねばならぬ時代である、即ち量の多きより質の優を求めねばならぬ、吾人は地球の表面に實を求めずして寧ろ地中に實を求めたい。

五、功勞者の表彰

久しい年月星を戴き霜を履むといふ劇務に身を委ねて勤勉した人々の功勞に對し何かの形式を以て報いたいと考へてゐた。

今回本會の表彰したる跡を看るに時間の上より云へば短かしとしない。勤続者は二十五年以上、皆勤者は十五年以上を標準とし、前者は正に人生の半に等しい、官吏は一定の俸給を受け退職後と雖恩給の制がある、物品を與へて功勞を賞する如きは、敢て其要なきものゝ如しと雖、二十有餘年變るなく又は十有五年一日の如く、忠實、誠意を中心として活動せられた人格者に對しては、吾人同儕は何處ともなく尊敬の念を生ずる、此の崇

高なる道德的感情は何かの形に現はれ以て其満足を得んとするは、勢ひの止むなきものであらう、これ今回の功勞表彰のある所以である。

六、衛生材料審査部の設置

昨年五月刑務所衛生材料に關する司法當局の訓令發せられ、之が遺憾なき實行に付ては當局に於ても考慮せられてゐたと聞いて居る、生命欲を満足すべき衛生事項は行刑の内容に於ても骨子となり、心身相關の上よりしても最も重要な事項たるは勿論である、然るに各刑務所にて使用する衛生材料は種類形状品質價格等を異にするのみならず不統一に流れてゐる傾きがある、之が規格を統一し一面大量購買に依り價額を低減し、國家の經費をも節約せば相互の利益なるを考へ、司法當局に建議したる處幸ひ快諾せられ、教化資料調査部の前例により標記の調査部を設置せられた。

此種事業は稍や専門的になり、技術を要すること尠からず第一回は既に試みられのであるが、審査に付ては専門家が有り何等の不便と遲滞を感じなかつた、然るに買ひ入れと配給の點に付未だ研究の足らざるものあり、初志の貫徹には一段の努力を要すべく、會員諸氏御後援の下に將來完成を期したい。

七、製作品々評會後援

刑務所では仕事をして品物を作つて居ることは知られてゐるが、單にそれ丈で一部有識者を除いては何も知られてゐない、全然様の下の舞の觀がある、作業のみならず刑務所の仕事は密行であると稱し社會に發表して良いことでも、何時も消極的に流れ遺憾とする點があつた、今回開催された品評會は此種の弊を打破する警鐘で、本會は進んで後援した譯である。

奨學金の制に就ては既に理事會に於て案は可決せられしものゝ、實行の方法に付又財的關係より本稿を終るまでに確定せず、茲に發表するの機會を得ざりしは甚だ遺憾とする處である、以上は本會の本年中新に起したる事業にして、將來益既設事業と共に充實進歩を計り、以て會員諸氏の希望に背かさらんことを期すると共に、一層の御援助を願ふ次第である。

歳末に臨み謹んで會員諸氏の御健康を祈る。

作業製品々評會由來

正木亮

(一)

社會は犯罪のブイオンだといつたら、カツサーニユの言葉、犯罪人は心的の欠陥者だと見たクエーカー宗徒の信念。その二つをわたくしは二つながらに是認せねばならぬ。然り、社會は犯罪のブイオンである。致々として働いて居る勞働者が馘首されたときその裏面に何が起るか。徒食放浪窮局するところ果して何を意味するか。

社會が馘首された者を馘首された儘に抛てきするとき、徒食放浪する者を徒食放浪に委ねる間、その社會は犯罪のブイオンであらねばならぬ。

教育が徹底的に普及しない間、而して信仰に覺醒しない國民が多数である間、われは不羈な情緒的行動に走る者のあることを豫期しなければならぬ。此の意味に於てわたくしは今日に於ても尙十八世紀に於けるクエーカーの信念を享け入れねばならぬ。

そうして此の二つの欠陥が存する間、わたくしに刑務所の存在が否定出来ないと同じように犯人の此の二つの欠陥を對象として居る作業と教誨教育との存在を是認せねばならない。而して此の二つの存在が上述の様に社會的現象を前提とするが故にそれ等

の作用を自らにして社會的作用たらざるを得ない。今日の作業經營及び教誨教育が舊來の因襲を超脱して、所謂刑務所の小天地に躡踏しないで社會的に發展せざるを得なくなつた所以も亦茲に存するではあるまいか。行刑の目的は犯人を社會の良民に復歸せしむるにあるのだといふ古くからのデフイニツトは近來の刑事政策上愈々實現を餘義なくせられたといふことも出来る。門戸閉鎖の密行主義は徹底したる社會的改善作用の前には既に終焉を告ぐるの時が來たのである。

われ／＼は如何にして此の社會的改善作用としての作業經營と教誨教育とを實施すればよいか、それは當局にとつては洵に頭痛の種であり、社會的には洵に大きな問題であらねばならない。

時恰も我が當局は巢鴨刑務所をして全國刑務所の作業製品々評會なるものを舉行せしめた。わたくしはその是非論は少時置き社會的改善作用の立場から此の品評會の成立由來を述べて見たい。

(一)

さなきだに我が刑務所の作業は愈々進展の域に達した。大正十一年に作業發展策が講ぜられて一方には作業時間が延長された。他方には之に對する諸種の優遇方法が講ぜられた。批評を試むる者は刑務所作業萬能を非難する者さへも見受けられた。けれどもわれ／＼は現社會を通觀して茲に一考を要せねばならぬ。それは、現社會に於て心

的改善と職業的訓練との何れが稗近であるかの點である。わたくしは決して二者に段階を設くるを欲しない。けれどもその後者が現實的であつて前者が理想的であることを否定することは出来ない。現實的は仍ち差し當りの問題であつて理想的は仍ち宏遠的な問題である。二者共に備つて完全なる改善作用を發揮することを得ることは勿論である。けれども今日の如く定期刑の範圍内に於て行刑の目的を達成すべく要求せられて居る刑務所に於て、どうして差當りの問題である現實的作用を急がずに居られようか。換言すればわれ／＼は犯人の改善作用として差當りパンを得るの途を講じてやらねばならぬ。衣食足つて禮節を知るといふた諺は或程度に於て今日の行刑に之を肯定することが出来る。パンを得るの途を教へつゝ他方に心的改善を爲すことに於てその心的改善の效力を實效あらしむる所以ではなからうか。

批評を試むる人達が今日の行刑は作業萬能であると謂ふもの蓋し上述の如く教育教誨が理想的性質を帯ぶるに比し作業が現實的性質を帯び従て前者の作用がじみなるに對し後者の作用がはである關係から起る批難ではあるまいか。

わたくしは此等の關係から今日努力されつゝある當局の作業發展の企劃を是認せねばならない。その企劃がはであるからとて之を以て當局が心的方面を閑却したと見ることは甚だ早計といはねばならぬ。

今次巢鴨刑務所をして行はしめた全國作業製品々評會も亦そのやり方は從來の因襲

の眼を以つて見れば甚だは、である。けれども冷静に批判すればそのことたるや洵に社會的であり現實的改善の一作用であらねばならぬ。此の意味に於てわたくしはその計劃を妥當であつたといはねばならない。

(三)

全國作業製品々評會が劃策され出した主たる動機は一言に盡せば前述の如き現實的改善といふ固き根底の上に立つたものである。翻つてその動機を細別すれば概ね次の様な點に發して居たものであつた。

- (イ) 作業の督勵
- (ロ) 能率の増進
- (ハ) 作業分布状況其他職業訓練の實際に關し一般への照會
- (ニ) 作業計劃に關する統禦

然るに當局が本年七月十日付を以て右品評會の通牒を發するや二三刑務所に於ては或は此の品評會開催の趣旨を單純なる作業督勵の意味に於て或は作業成績の評價的意味に於て之を即斷されたものと思料さるる點が認められた。然しながら此の品評會が例令社會的分子を多量に含んだとしても、それが行刑作業である以上之を世の所謂展覽會と全然同一視すべからざるは當然のことといはねばならぬ。故にわたくしは自己の刑務所では貧弱ながら此の様な作業訓練を爲しつゝあるといふ紹介の意味に於て奮つ

て贊助せらるべきものであると考へた。此の意味に於て當局は更に八月二十八日再び通牒を發してその決して作業督勵及び成績評價の意味に止まる可きでないことを明かにして銳意出品方を勸告された。その結果、果して行刑作業製品としては優秀過ぎる程の製品、殆んど習作に過ぎないと見られる様な製品が多數出品された。

わたくしは精粗取交つて居る此の多數の出品があつて始めて此の品評會開催の目的を達したものととして祝福せざるを得ない。なぜなら、わたくしは習作の如き製品を見て現實的改善の方法に於ても尙進展を促す充分の餘地あるを感じ需要少かるべき製品を見て作業分布に考慮の餘地あるを教へられる事尠くなかつたからである。

華美な器用な製品必しも此の品評會をかざるの優なるものではなかつたこと勿論である。製品に至るの道程とも見らるべき製品があつたところに刑政家の注目を曳いたであらうことは反つて此の品評會の成功ではなかつたか。従つてわたくしは賞表されなかつた出品刑務所の此の種の功績大なりしことを認めねばならぬ。

(四)

要するに、今回の全國作業製品々評會は上に列記した四つの動機に對し充分なる成果を納めたものであると思ふ。けれどもわたくしは此の企から更に多大なる副産物が生れ出づることを希望して止まない。

即ちその一は賞表された刑務所に於ける累犯が果して少いか否か粗惡な出品を爲し

た刑務所の累犯か果して少いか否かである。蓋し、社會的改善作用と累犯との關係が密接に關係するものだらうといふことが未だ研究されて居ないとすれば茲にその資料が提供されたからである。その二は刑務所の作業は需要を單にその所在地に求むべきか否かである。集り來つた製品にして都會地に供給する可能性ありとすれば刑務所は相互間に販賣のプランチたるの役目を努むべきではなからうか。觀じ來れば此の品評會は決して一個の品評會に止まる可きではなかつた。

畢りに品評會を利用して當局が各刑務所に要求した最後の一點を考察して見たい。それは仍ち犯人にパンを得る様な改善作用をなすことが今日の刑事政策界の大きな要求だといふことを示したものと考へらる。

學力のある子に不良 兒が多い

司法省保護課では、此の程、少年審判所に於て保護處分を受けたる大正十四年度における不良少年に對して、教育方面よりその調査を試みたが、その結果によると、逃走者二千四百六名を除いて總數六千八百四十七名の中

尋常小學	一男	六三〇人
高等小學	一男	五四人
中學以上	一男	一三七人
不熟者	一男	一七〇人
卒業者	一男	九人
在學者	一男	九人
尋常小學	一男	二三人
高等小學	一男	四人
中學以上	一男	二九六人
不熟者	一男	九人
卒業者	一男	九人
在學者	一男	九人

右の如き統計を示してゐるが、これによる學力程度の低いものよりも程度の高いほど犯罪少年を多く出してゐる事がわかる、しかし少女の方はその反對に尋常程度の者に多く、學力が進むにつれて減少する傾向を見せ、これを一方から見ると、天性的に女性よりも男性の方が不良性を多く持つてゐるといふ事を云ひ得るが、そこには女子と男子が生れ乍らにして性格的相異のある事をよくうかゞはせてゐると思ふ。

品評會の開催に就て

來賓招待會席上挨拶

佐藤 乙二

閣下並に各位

本日全國刑務所製作品の品評會を開催致しますに付御招待申上げました處、御多用中にも拘はらず斯く多數御來臨を辱ふ致しました事は慮外の光榮とするところでありまして謹んで感謝の意を表します。

此度の品評會は當局の御指と刑務協會の後援を以て開催することになりましたが、其主たる目的は刑務作業改善に資せんが爲でありまして、之に依て全般に刺戟を與へ受刑者の職業訓練の實を示し大に得る處あらんことを期待するに在るのであります。

此種の催しは今回が始めてでありまして、當局及び全國並に殖民地各刑務所に刑務協會等より御懇篤なる御配慮と御指導を辱ふ致したのであります。何分にも不

馴の爲め設備萬端不行届の點が多く恐縮に堪ぬ次第であります。何卒十分御高覽の上御腹藏なき御批判を賜はらんことを切に御願致します。

今日行はれて居る刑務作業、官司作業、委託作業受負作業の三種でありまして、官司作業と申しますのは原料及器具器械の一切を官にて設備し官の技師員指導の下に物品を製作販賣するものでありまして、又委託作業と申すは主たる原料を委託者より提供し官に設備せる器具器械原料を使用し官の指導者により委託者の爲に物品を製作又は修理致すのであります。次に受負業と申すのは原料器具器械一切を受負人より提供する外技師員を派遣し其指導の下に就業せしめ刑務所は單に收容者の勞力を供給し之に對する賃金を徴收するのであります。當局に於

かれては事情の許す限り官司作業委託作業を擴張せらるゝ御方針である様に承て居ります。今回品評會に陳列の物品は官司作業製品之に若干委託作業受負作業製品が包含致して居るのでありますが、場所、運輸等の關係上御紹介申上ることの出来ぬので遺憾に存じますが、日常需用品の製作に付ては何處の刑務所に於ても相當設備と能力とを有し常に其改善に努力して居る次第でありますから、之を官廳各公共團體の製作に御利用あらせられれば相互に利便があることと存じます。現に當所の如きは大部分作業が選信省陸海軍省官衙より注文を受け大量の物品を供給致して居る次第であります。外國等に於ても受負

業は漸時之を廢し官司作業就中官用主義即ち當廳需要の物品を製作する主義を利用してゐる様な次第でありまして。今後各官廳公共團體に於かせられては可成之を御利用あらんことを切に希望致します。終りに本日斯く多数御來觀を辱ふ致した事により刑務所並に收容者に對し深刻なる感動と激勵を扶植せられたること、信じて疑はぬ

次第でありますので、此機會に於て吾々刑務官として一層の發奮努力を自覺する次第でありますから今後一層の御諒解の下に御鞭撻と御指導を冀ふて止まぬのであります。

尙今回の催に付朝鮮臺灣當局に於かれても大なる好意を寄與せられ管下刑務所より優秀な製品を出品せられたことは感謝に堪へませぬ。内地刑務所も大に努力を要すること、痛感致して居る次第で有ります。又全國刑務所より大なる御熱誠を以て御出品を頂きましたことは主催地として感謝に堪へませぬ厚く御禮申上ります。

然るに陳列の場所其他等不馴の爲め御尊慮に忤る點も多からん事と存じ恐縮に堪へませぬが此點は偏に御許しを願ひます。茲に御挨拶を兼ね一言申述べます。

木工品審査概評

木 檜 恕

茲に展覽會出品物の審査概評を述ぶるに當つて豫めお辭りして置かねばならぬことは、刑務作業なるものに對してまだ何等の智識も經驗も無き私が之に適評を試むるといふことは全く不可能のことで、従つて是より申し上げることは、一切の事情から離れて、單に品物其の者に就ての感想であることを御承知置きを願ひたいといふことであります。

却説個々の品物に就いて技術上の御批評を申上ぐるに先つて第一に申上げて大方諸君の御批判を仰ぎたいことは、今回の展覽會に於ける木工出品の數量が割合に多かつたに拘はらず、之が種類といふか其の範圍の極めて多かつたこととあります。概して日本風の家具が多くて洋風の家具は至つて尠なく而かも和風の家具の大部分は

火鉢茶箆筒、机衣服箆筒の類で、在來の者と意匠も、製作も何等變りなく極めて平凡のものであつたこと、洋風の家具と雖も僅かに洋服箆筒茶棚等に於て幾分の新しき考案上の苦心を認められざるにはあらざるも、是れ亦概ね卓子椅子本棚の如き極めて有り振れたもので、宛ながら觀工場に見ると殆ど變りが無かつたのは頗る遺憾と考へます。尤も今日尙ほ我が國民大部分の生活が此の域にあると言へば夫れ迄であるが、然かし今日國民の一部即ち小なくとも都會に於ける智識階級の生活に對する思想が著しく變化し、擧げて過去の無駄の多かつた家屋を改造して、一日も速かに精神的にも物質的にも充實した住宅の生活を營まんとする思想は全く之を度外すること出来ぬのであります。元より和と洋を區別する必要も

無く、所謂我が國民の現代生活に最も調和する相應はしきものを突出して製作し出すことが最も肝要の問題であると思ひます。今日我が家具を批評する最も大なる聲として、日本の新生活に便利なるものが極めて尠なく、且つ概してそれが高價であるといふことであります。如何にも之を全然否定することの出来ぬのを遺憾に存じます。是れ蓋し最新の生活に對しまして便利に考案し、且つ十分に鍛練せられたる一定の家具設計の無いことが最も大なる原因をなして居ると思ひます。

凡そ工藝品の展覧會とか或は競技會の目的は、廣く新しき考案を求めて其の途の進歩向上に資するにあることは申迄もありません。現に本年五月より巴里に開催せられたるある萬國美術工藝品大博覽會は、其の出品を促す場合に、出品物の條件として現代の最も進歩したる科學と美術を結合し、殊に創意に富みたるもので、過去の骨董品とか或は他を模倣したるものは絶対に許さぬと言言して居られました。如何にも要を得た言葉と存じます。

して之が必要に應じ、其の販賣範圍に於ても、僅か一地方一區域に止らず、廣く一般に供給する覺悟を以て進まねばならぬと考へます。斯かる改良は其の實行に當りて中に幾多の困難が伴ひます、従つて之を民間の當業者に望んでも資力と智力共に中々無理なこと、存じます。然らば刑務所とか或は學校とか試験場とかが、先づ先頭に立つて之が研究に志し範を民間になすことは蓋し當然の使命であると考へます。而して之が目的を達せしむる手段として、第一に優秀な技術指導者を要することになりま

す、斯くなれば從來の如く同じ技術を單に繰り返さしむるといふことを改めて、佛檀の彫刻師は椅子や卓子飾棚其他工藝品の彫刻家となり、唐木の職工は更に進んで硬木を利用する有らゆる家具の製作者なり、箆笥の職工は桐や其他軟木を利用する家具指物其他工藝品の製作に仕向けることも出来ます。斯くして在來の家具指物は茲に初めて時代に相應はしきものに改まり之が教育を受けたるものは新時代に優者として立ち得る技術を修得して再

す。此の意味に於て今回の出品物は其出立に於て一つの缺點があつたと思ひます。といふたならば或は地方などでは特に新しい家具を作つても決して賣れるものではない、矢張商品としての價値は第一に賣れるのが目的ではない、矢張商品として御座います。だが凡そ産業振興にも一應御尤もなことで御座います。興の目的は、常に其の土地に需要する僅かのものを供給する許りが本旨ではありません、否な寧ろ地方の製品を中央の都會に出し、日本の工藝品を海外に輸出するものが産業振興の大目的であらねばならぬと信じます。斯くあらねば産業の發展などは到底画することが得らるゝものではない。我が産業に従事するものは地方と都會とを問はず常に此の目標を深く念頭に置いて掛らねばならぬと思ひます。

刑務所の作品は既に民間に賣り擴めらるゝ途も開けて居らるゝといふことであります。然らば其の作品たる今日の國民生活の向上に最も適すべき優秀なるものを製出

び實社會に出づることが出来るのであると存じます。

是れより本論たる技術上の御批評を試みたいと思ひますが製作品の意匠圖案に關しては次に他の審査官から詳細に申上ることになつて居りますから、私は之を省略いたします。唯だ一言申上げて置きたいのは、凡そ家具工藝品の圖案は其の國民の趣味趣好に合致せしむることが極めて大切のことで、殊に夫れを他へ輸出する場合に於て一層其の必要を痛感いたします。といふて夫れが東京に出すから東京の間似をし、外國へ輸出するから外國の間似をしるといふのではありません、要は輸出先の趣味趣好を良く研究して夫れに合致せしむる範圍内に於て他は其の地方の特有の圖案と材料を以て製作を試み矢張其の地方の特徴を失はせしめざるが必要であります、換言すれば常に循環し來る時代の流行に良く着眼し早く之を把へて十分に研究し之に向つて自己の特徴を發揮せしむることが最も肝要であります。尙今一つ肝要のことは裝飾の爲めに實用を犠牲にする様のがあつて

はなりません、實用と裝飾とは常に相並行してゆく所に工藝品の生命が存在いたします。今回の出品中地方の特質を發揮して居る所に愉快な點が伺はれますが、唯だ夫れのみには把はれて現代の流行なるものに聊か觸れて居らぬのは甚だ遺憾と存じます。殊に又或る出品物は徒らに裝飾にのみ没頭して實用として如何なる用途に先つべきか其の判断に苦む様な本末を失つたものゝあつたことは甚だ残念に思ひます。要するに家具の意匠は第一に其の用途を十分に明かにし如何なる場所に据え付くべきか等も確めて然る後設計圖案に取り掛るべきが當然の順序であります。

次に製作技術に就ては第一に材料を良く精選して經濟的に之を使用すること、第二に工作を堅牢にして且つ狂を生ぜしめざること、第三に着色仕上を適當に施して木材天然の美を十分に發揮せしむることは其の根本であります。却説第一の材料に就て其の精選の誤つて居ることは幾多の製品の上に現はれて居ります、机の甲板の

常に用意し、然るべきだと思ひます。其他使用せられたる木材の範圍に關しても如何にも普通の材料に止まつて新しき他の用材に手を染めたものゝ尠ないのにも遺憾と思ひます、我が森林中には尙幾多名さへ知れぬ材種が澤山ありきす、之を研究して適材を適所に使用することも我が國産の利用上大切のことゝ存じます、尙又従來使用に馴れた木材でも其の用法の研究によつては更に新しき用途を見出すことも出來ます、例へば節の多き材料でも之を用ひて上下左右に繰り返して用ひたなら傷は却つて一つの趣きを添ふることにもなります、或は又杉や松の軟木でも之に奇色を施し透明のニス塗仕上となす時は却つて天然の木理は寧ろ硬木よりも美しく現はれて之を裝飾的新しき用途に應用することも出來ます、其他枝木を用ひて庭園やヴェランダの家具を作ることの研究しても價值あることであります、或る我が國産の藁や竹を家具の製作に應用して巧みに之を混用することも一つ新しき試みと存じます、藁を網んで椅子の坐張となし竹を

板目と柱目を無頓着に矧ぎ合はして用ひたり、同じ柾目板を左右對照に用ひたら、同じ材料と手間を費やして美しく見らるべきに之も不注意の爲め却見苦しき様に仕上げたりした例は中々多かつた様に思ひます。殊に私の遺憾に耐えぬのは立派な桶や棒の柾目板や、北海道の埋れ木を厚き無垢板の儘何の惜しげも無く使用したことで之は貴重材の經濟的使用の見地から頗る残念のことに思ひます、須らく之等は適當の薄板をして之を狂ひ尠き他の厚板に貼り付けて使用すべきであると思ひます。

それから木材の乾燥不十分の爲めに惜しき狂ひを生ぜしめたのも遺憾のことである、若し木材を夫々用途に應じて豫め製材して天然自然に乾燥せしめたなら斯様の故障は無かつたらうに憾しいかな製品の寸法や圖案がまだ不定の爲めに木板に一定の市場の形態も無く従つて乾燥材は乏しく遂に斯かる始末に陥ることゝ思ひますが如何にも残念のことゝ存じます、木材の規格を統一して最も普通に必要なる寸法の板は平生より完全なる乾燥材として

編んで衝立の鏡技となすが如きは最も普通に行ひ易きことであります。家具の製作に供すべき材料を單に木材のみに限つて置くことが如何ばかり之が進歩を妨げて居るか知れませんが、大に技術者の着目すべき點と考へます。

次に工作のことに關して第一に注意すべき點は其の狂ひに對して如何に之を防ぐべきかの注意が全然缺けて居ることであります。假令乾燥が如何に完全に施されたりするとも絶対に狂ひ其の伸縮及張を無くするといふことは困難のことであります、此に於て之等の狂ひに對して其の故障の目立たぬ様な構造法を工風する必要が生じて参ります。棒の一枚板殊に柾目の板を一枚板の儘使用したり之に端嵌を施したりするが如きことは頗る危険のこととて全く木材の性質を無視した使ひ方と言はねばなりません、其他机の甲板を確と幕板へ上より釘打ちとし埋木したり、其の裏面の吸付を木捻子繕めとしたりしたことなどは全く亂暴といふより外はありません。木は常に巾

に伸縮するものであると承知して常に多少の動くべき余地を與ふることは構造上大切な條件であります、又其處に刳形や面を設けて其の間隙を装ふことも一つの方法であります。だが最も徹底的に木材の狂ひを防ぐ方法には狂ひ易き貴重な木材は悉く之を薄板として乾きを完全にすると同時に其の狂ひに對する力を弱くして次に之を狂ひの最も少き他の廉價なる木材に貼付けとして使用することであり、勿論此の場合の心木の製作は如何にして狂ひを絶対に防ぐことを得るかについて十分の研究を要します。比較的狂ひ小き木材を精選して成る可く巾狭き板目に挽き割き之を互に翳ぎ合せ更に此の面に木織維を直角にして薄板を貼付け、次に表面の薄板を両面に貼付けて仕上げとするが、若し一層完全にするなら更に薄板を幾枚か貼り重ねる必要があります、斯かる構造法は工藝品の進歩と共に漸次適用せらるべき運命にあると御承知あつて然るべきと思ひます。

出品中唐木若しくは桐の細工は比較的外觀が見事に仕られて自然に活動的となり、旁々能率も増進し細工も上等に出来上がるといふ結論に到達すると思ひます。殊に機械の中には機械で無ければ全く加工することの出来ぬ旋盤の如きは更に新式の機械を据えつけて之が使用に熟せしむる時は社會に出で、務めて有力の位置を占むるに至らしむるのみか差し當り當工場作品を經濟化し、時に民間に於て全く夢想だも及ばぬものを作り出し、或は部分品として之に供給することも至極面白きやり方ではあるまいかと存じます、其他彫刻でも刳形でも悉くこの筆法によりて更に機械的に向上せしむることが出来ます。最後に仕上ることについて一言いたします、此の度の作品中仕上に對する注意が頗る缺けて居つたのであります、凡て木材に着色仕上の目的は其の天然の材色木理の美を益々發揮せしむることを忘れてはなりません、材種の如何を顧みず常に一定の色を以て塗り上げるが如き筆法は大に慎しむべきことである。楯にはならぬ材質に相應しき色があり仕上がり、柄には柄の細かい

上げられて居りますが、他の雜木の細工中には可なり亂作のものがありました、恐らく前者は従前唐木若しくは桐の細工を業として之に馴れて居つたが、雜木の細工は雜木そのものゝ利用が新しい所に白人が之に當つたといふ結果では無からうかと存じます。而して將來の新しい家具は益々此の雜木を使用せねばならぬ途上にある以上は迅かに之が細工に熟せしむる必要があると思ひます。此に於て私は努めて多く機械を適用して、木取木削りは勿論更に進んで刳形穿孔孔位迄も機械加工として、殘る所を手工に廻はし適材を適所に配したなら機械手工共に何れも比較的早く熟するに至るだらうと存じます。今日の實社會の組織も急に機械化して、手工と機械とが自ら別かるゝに至つて參りましたから、之に密着せしむる爲めにも斯かる教育法を行ふことが大切だと思ひます、昔の年期徒弟の様に三年も十年もかゝつて漸く一人前となる様な教育法全然今日の時代と没交渉の教育だと思ひます、斯くの如く機械を使用する時は職工は之れに引かさ

材色木理を引き立たしむる仕上がりがあります、概して濃厚の着色を施したことは木材の天然美脚が無理したをしりは免がれぬと思ひます。それから仕上の塗料についても夫々特徴があり適材適所に用ふべきであるに拘はらず、一も二も無くラツク一天張りのやり方は大に反省せねばならぬことであります、御承知の通りラツクは乾燥が速かで取扱ひの易い爲めに多く用ひられますが其の耐濕耐熱耐酸等に至りては頗る弱點があります。之に對してヴァーニッシュは其の乾燥の遅い欠點はありましたが次上ラツクの有する缺點は之を補ふ性質は之を有して居る、而かもその乾燥の遅緩なるに對しては更に人工的方法に依つて十分之を補ふことを得るに至つては是れ又大に考慮すべき問題であると思ひます。又一面研磨仕上のことに就ても其の材質と着色に相應しからしめねばなりません。マホガニーの如き着色に對してはラツク又はヴァーニッシュを以て磨いて艶出し仕上とするも良いが若し楯にアンモニヤ或は重クロム酸の着色を施して古代風の

色付けをした時は之が仕上は光澤に富むものよりか寧ろ之に乏しき蠟仕上を施した方が余程調和が保たれます、之はホンノ一例ですが凡そ斯かる考へを以て着色と仕上を選ぶべきだと思ひます。此の場合日本特有の漆なるものを忘れてはなりません、假令手間はかゝるにせよ總ての點に於て優れた性質を有する漆は矢張日本のホコルベ工き仕上材料でありますから是れ亦適所に應用することは極めて大切なことと存じます。

同じく仕上の事項で金具のことについて一言せねばなりません。由來我國の金具は其の製作が極めて軟弱で而かも之が取付を輕卒に取扱つた弊があります、之は今日家具を改善する一大要項である、之に關して今回の出品中巢鴨刑務所の作品に自家製作の金具を使用してあつたことは大に喜ばしきことでありました、勿論其作品には外觀の意匠や構造に向多少の改むべき點がありますが、然し之に依つて追々と過去の金具に對する缺點を補ひゆくことは期して疑ひ無きことであります、但し金具の製

作は多量生産に依らねば其の價格を低下せしむることが困難でありますから、此の點にも御注意あつて御製作の金具は更に一般事業者にも分けてやるやうにして載きたいと存じます。そして普通の金具より漸次民間に出來ざる特種の金具にも及んで下さつたなら、本邦家具の改善上如何ばかり幸福かと存じます。

之を要するに將來刑務所の作品なるものは安いと言はるゝよりか先づ第一に品が新しく安全であるといふことを第一の目標とし御進み願ひたいと存じます。安くするといふことは、稍々もすると民業壓迫の意にも解せまらず、然し良くするといふことは民間を指導することになります、斯くして常に指導の位置に立つて之が研究を進めたなら決して民間の批難は起らぬ道理でありますまいが、そして追々正當の價格を研究して範を示したなら、一般に家具は高いといふ詰問に對しても漸次解決せしむることが出來ると思ひます。

圖案上より見たる出品審査概評

安 田 祿 造

只今木枠審査員より、材料及製作から、木工品に關する詳細の批評がありました、私は圖案上から、出品物全般に對しての概評を試みたいと思ひます。

此度の競技會に於て、比較的見るべきものゝ多かつたのは木材製品で、之に次ぎては、皮革製品であります。染織品及金屬製品には、餘り優良なものを見るを得ませんでしたのは、遺憾に存じて居ります。察する處、持ち合はせがなかつたか、或は製作が間に合はなかつた爲めであつたらうと思ひますが、染織品は、需用の最廣い工藝品で、一般に最進歩して居るものであり、又金屬製品は、範圍非常に廣く、實用、裝飾、兩方面に於て、新工夫、新開拓を要するものが多くありますから、明年の第二回の競技會には、優良な製品が多數出品せられること

を希望して居ります。

俸、私が今回の競技會を見て、第一に感じたことは、價格は安いが出來榮が宜しくない、殊に何れの品を見ても、大切な圖案研究が怠られて居ると云ふことであります。換言すれば、世間有觸れたる物を其儘模倣して居つて、更に新工夫をしたものが少かつた點であります。

出品物中には、農産物もあり、又機械類や紙類の純工業品もありましたが、大部分は、意匠圖案を根底とする工藝品であります。元來、工藝製作の要諦は、時代に順應して製品の改良進歩を圖り、人の趣味嗜好に投じ、販路の擴張に力むるを專一としたくはならないのであります。時勢は進々として移り、新は廢れ、新は迎へらるゝのでありますから、工藝に従事するものは、此時代思潮を洞

察する眼がなければならぬ、徒らに、昔から有觸れたものを模倣して造つて居るばかりでは、如何に其技巧が熟練したとて、決して賞讃は出来ないのであります。

人には誰れも美的の慾望があるものです。美を好み醜を厭ふは同一であります。勿論、人により此感情が鋭敏な人と、鈍感の人とがあり、鈍感の人は、鑑賞眼が低いから、悪いものも悪いと知らずに買ふ場合もある。吾々が見て、無代で貰つてもいやだと思ふものが、高價で賣れることがあるのは、鑑賞眼のない人が、一杯食はされたいふことになるのであります。されば製造家が、賣れるからよとして、研究もせず、俗悪なものを造るは、一種の罪惡であると思ひます。要するに工藝品は、需用者の階級により、普通品、中等品、高級品の差別はありませうが、其何れの階級たるを問はず、出来る丈時代化したものでなければならず、又出来る丈精美なものでなければならぬのであります。普通品だから粗末でも差支ない、安いから悪いのは致方はないといふは、時

美とがなければ、決して賞讃するに足りないと思ひます。諸前述の如く、工藝品は、時代思潮に順應し、社會人を満足せしむるものでなければならぬが、此工藝品に對し常に新生命を興ふるものは圖案の働きであります。圖案とは、品物に對する計畫を意味するものであります。即第一に需用者の方面を考へ、價格の標準を定め、材料を決定し、實用上の新工夫に就き研究し、次に形状、裝飾、色彩等を研究し、次に之を工作する手段まで考究するものが圖案の任務であります。如何なる物品と雖も之を作る前に、是丈の研究は必要で、此研究を等閑に附し、善い品物の出来る筈がないのであります。要するに圖案の巧拙は、直接に品物の美醜となつて表はれ、價値に重大なる關係を及ぼすものでありますから、大に研究の必要あることはお判りになつたと思ひます。

諸私は、此圖案の見地から、今回の競技會の概計をするのであります。先第一に木材製品に就き申上げますやう。出品中には、意匠製作共に誠に無類な作品も見受

代錯誤の甚しいものであります。抑、普通商品は、國民の大多數により需用せられ、販路も亦廣大なるものでありますから、斯様なものは、特に意匠圖案を吟味し、製作法を研究して、生産費の低廉をはかり、安價にして而かも美的價値あるものを造らなくてはならない。從來、我國人の考へでは、安いものは悪いものときめ込んで、一般商品に對する研究を等閑視して居つた傾きがあるが、歐米の製品を見ると、一般普通の商品が、我國品に比較すると勝つて居る所以は、斯様な商品に對しては、特に非常なる注意を拂ひ、意匠を吟味し、製作法を研究する結果で、此邊が歐米の製造家の考へと、我國製造家の考へが違つて居る處で、従つて彼我の商品の優劣を來す原因となるのであります。

之を要するに、工藝品なるものは、其普通品たると高級品たるを問はず、或標準以上に「レファイイン」されたものでなければ問題にならない。殊に今回の如き競技會に出品するものは、何處が從來のものとなつた、新案と

りましたが、大體から申せば、有觸れた平凡のものが多く、中には失敗の作品も多數見受けました。

失敗の原因は色々ありますが、一番多い失敗は裝飾をゴテ／＼と附け過ぎたことであります。例へば、座卓の表面に、コツテリと寄木細工をしたり、茶箆の前面に、無暗に寄木や彫刻を附けたり、或は鏡臺などに不調和なくどい彫刻をつけたりした爲に、却つて品物の品位を墮落させ、餘計なことをせずもがたと遺憾に思いました。

元來裝飾なるものは、餘程考へて施さないと、却つて價値を損するもので、圖案の考への乏しい人は、多く此弊に陥るものであります。勿論裝飾を澤山附けることが善いといふ譯ではなく、遺方の如何によりて澤山附ければ附ける丈、價値を増す場合もあるが、夫れは品物の種類、階級及材料並に技術の如何によるもので、普通品に矢鱈に裝飾をつけたとて、徒らに生産高を高める丈で、外觀は却つて俗惡に陥る恐れがあるのであります。裝飾

の秘訣は、要部に僅かに施し、大なる効果を收むるにあらざるを記憶せねばなりません。

次に多く見たる失敗は、一つの品物に色々の色彩の木材を混用したり、又濃淡の差の甚しい木材を混用したりした爲に、下劣な感じを興へたるものが多かつたことでもあります。例へば、戸棚の區畫毎に着色を更へた爲めに、全體に不統一のものとなり、恰かも幾個かの違つた品物を積重ねたかの感じを興へたものがあつた。又濃き着色の鏡板に、白い木材の廻し縁や、象眼模様を施した爲めに、ケバ／＼しい感じを興へたなどは確かに失敗であります。家具には落付こいふことが必要であります。ケバ／＼しい感じを興へる様なことは成るべく避けた方が宜しいと思ひます。

次に何處の出品か記憶しませんが、飾棚に新考案を施したものがあつたが、製作の技巧は中々よいに拘らず、形が全く成つて居らぬものがあつた。若し此製作者に、今少し圖案上の智識があつたなれば、良き製品

製作はありませんでした。殊に價格の安いことを考慮に入れて云へば、市中商舖の製品に損色はないかも知れません。

染織物は圖案上から云へば、柄が舊式平凡のものばかりで、一顧を償せぬもの許りでありました。此種の製品は、世間が一般に進歩して、競つて嶄新なものが産出されて居りますから、如何に刑務所の製品でありと云へ、今少し研究して貰はねばならぬと感じました。金屬製品としては、双物、藥罐、花瓶等の類であるが、圖案上から云へば、實に平凡を極めたものでありましたのは意外とする處であります。今後は良い圖案を興へ、製作させるように致したい。又仕上げが粗末である爲に、全體の價値を落して居るものが多いが、此點も注意されんことを願ひます。

藤細工には優良の出品もありましたが、品種、用途、形状等に新工夫をしたものを見受けませんでした。

漆器の出品も多少有りましたが、傳統的の考へに束縛

となつたであらうにと残念に思ひました。

其他箆笥の金具が貧弱で、本體と調和しなかつたり、臺所戸棚に、日本風と歐風とを混用し、全體の調和を破つて居つたり、圖案上から非難すべきものが少なくありませんでした。

次に木彫置物が數點出品されて居りましたが、取立てと批評する程のものがありませんでした。元來、此種のもの、裝飾一方のものであるから、餘程美的價値のあるものでなければ、競技會などに出品して割が悪い、如何となれば、審査の標準が實用品の場合と異なるからであります。實用品は、假令、美的要素に缺けて居つても、實用の見地から考慮される餘地があるけれども、裝飾は左様に參らぬ故、採點が辛いのであります。

次に皮革製品は、靴、手靴、ストークースの類であります。就中、靴が大部分を占めて居ります。出來榮から申せば、小菅刑務所の出品が一頭地を抜いて居りましたが、概して何處の出品も良い方で、木工品に見た如き

されたものばかりで、何等新工夫はありませんでした。今少し時代化したものゝ出品が見たいものだと思つて居ります。

以上は概略の批評を申上げたのであります。併し刑務所が斯様な企てをなされたことは數天荒のことであり、第一回の催しとしては良好の成績で、私の批評は聊か酷であつたかも知れませんが、前申し述べた工藝本來の目的から云へば、忌憚なく是非々を申上げお考へを願ひ方がよいと考へまして、申上げた次第であります。

最後に、私は上局の方に一二希望を申述べたいことがあります。今回の催しは誠に結構なことで、之を動機として刑務所製品の改善進歩が漸次出來ることゝ信じて疑いませんが、製品の改善を圖る必要なことは直接指導の任に當る人に、研究の機會を興へることが最必要のことであると思ひます。指導者の頭が枯渴し、腕が鈍るなれば、製品の改良どころか、必ず下落するに相違ない。技術者は、猶斷すれば時勢に後れて仕舞ふものです、故に

技術者は進んで外界の刺撃を受け、頭の修養をなし、世の中の進歩に後れざるよう力めなくてはならぬ。然るに東京大阪の如き大都會に居る人は、多くの場合に於て研究の便利があるが、地方邊陲の地にある人は、見るに物なく、聞くに人なく、どうしても世の中に後れがちであるから、斯様な地方の刑務所に於ては、指導者を時々大

織維工藝品審査概評

齋 藤 俊 吉

織維工業に關する出陳物は、帶地、綿木綿、緋木綿、布、柞蚕織、麻織物及其染色物、スエーター、襪衣、靴下、ホワイトシャツ、各種洋服、竝に、麻糸、數物類數が主でありました。

右出陳物は其全加工を刑務所にて行れたものもあれば又其一部を行はれたものもある様であります。大體技術

都會へ出張させ、研究をさせることは實に必要のことであらうと思ひます。其他技術上の講習を聞くこともよからうし又中央から實地上の指導者を各地に出張させるも宜しからん、其他爲すべきことが色々あると考へますから、何卒此點を御考慮あらんことを望みます。

上に於ても又意匠の點に在りても、其製作上極めて親切に眞面目のものもありましたが、其種市販品のそれに比べて見まして特に進歩ある處を見出すことが出来ないものが多いのと、製作を急ぎたる爲めか、注意の行届かないので或は織傷、織斑、又は染斑の様なものとなりて明かに表はれたるものが尠くないのと、原料糸の撰擇及其

使用が當を得ない爲めに著しく外見美を損せるものとか、熟達の度が浅い爲めに兎角あか抜けがしないものなどがあつたのは誠に遺憾と致す處であります。

以上申上げた事共は極く僅かなる注意を加へることによりまして全く之を改むることが出来ると思ひます。

指導者の側に於かれては色々の事情があることは存じまするが、其導き方によりましては以上の缺點の大部分は之を改むることが容易に出来ると思ひます。

今改善を要すべきものにつき其一例を申し上げて見れば、彼の紋帶地で在ります。其緯糸の打込が非常な不注意であります此れが傷となつて出て居ります。紋帶地である以上一種の美術品工藝品でありますから餘りに製織上不注意で此れが爲めに織傷を出すと云ふことは洵に遺憾と存じます。又ハンカチーフに就て見ても其意匠に關して相等な苦心の跡が見えますが、如何にせん糸の撰定其宜しきを得ない爲めに、外觀美は著しく損されて居ります。靴下の如きは染色及仕上に就て注意が足りない

様に見へまして形狀と云ひ又其色合と云ひ誠に遺憾の點があります。編物襪衣ホワイトシャツの如きは縫製に注意が足りない様であります。洋服に就きましては裁斷縫製並に外觀等の諸點につき相當なる成績あるを認めました。然し其縫製上の技術には親切過ぎるものもありましたが又裁斷と縫製との調和が取れて居らない様なものもありました。特に出来上り品が稍や硬きに失しはしないかの感もあります。或は縫製者が故意に材料並に裁縫上に硬製の方法を取つた如きの感もありました。此等の事共及び其仕上り物が外形の點着心地の點からしても猶ほ改良せらるべきものがあると思ひます。

之を要するに織維工業に屬するもの、製品は多くは其性質上外觀及趣味の變化が極めて速かなるものでありますから、出来得べくんば時流に適應する様に外觀なり輕重は勿論でありまするが、又製織上及仕上の技術からして其手觸等を完備せしむることが最も肝要と存じます。此等の事柄につきましては指導者の方は宜しく世の嗜好

及其變遷を察しられまして而して其製作の方法に就ては世間が普通に行つて居る其製作方法と甚だしき距りのない様な寧ろ全く同一の方法にて操業をさせ其仕事に速かに熟練をするように其上仕事に興味を感じる様に指導せられたならば其効は決して空しく無い事と存じますから斯くあらんことを願ふ次第であります。

金屬製品審査概評

關口 八重吉

私は刑務所に關しては少しも智識を持つて居りませぬが、帝國發明協會の調査委員であります關係上、毎月受刑者の提出に係る考案を審査致して居ります。此の考案の中には無論實用的價值を有するものもありますが、

大部分は突飛の考案即ち奇想天外的のものが多いのであります。其故に今回催された品評會にも定めて斯様な種類のものが多からうと云ふ事を豫想致して参りました。出品其物を實地に見ますと多少奇に走る着想のものもないとは申されませんが、主なる出品は皆充分の實用的

價值を有し刑務所製品の特徴を發揮致して居ります。此は私が甚だ喜ばしく感じた点であります。

本品評會の出品に普通の博覽會や展覽會と同様の考案を以て之を見る事は適當でない。單に出品其者の出來榮へとか、製作費の多少のみを以て優劣を論ずべきものではない。出品製作に對する努力集中に關し注意するの必要がある。凡て人心を改善せしむるには一つの事に没頭して努力せしめ、之を指導する事が必要である。英國の某機械工場にて青年技師を採用する時には必ず其努力集中

金屬製品審査概評

程度を試験する、此は厚さ十數吋の鋼鐵板を徒手双物を持てはつらせるのである、極めて骨の折れる仕事で又趣味も薄いのである。併し將來工場にて活動する技術家は此程度の熱心と根氣とを必要とするとの事である。此の点より見る時は本會に於ける出品中少年受刑者の作つた石燈籠や又獅子の彫刻物等は例へば形狀圖案若くは美術的見地よりは感心しないものであつても、其努力集中の上よりは考へて然るべきものである。即ち仕事は上等でなくとも精神の籠つたものであれば取るべき点があると考へる。

扱て私の分擔致しました金屬製品は其種類、數量等も極めて少い、庖丁、置物、藥罐、錠、小形の機械等であります。一休金屬製品に吾人の生活には必要欠くべからざるものであつて、其種類も亦甚だ多い、然るに本品評會の出品は大部分月並の品物で特に見るべきものが少かつたのは大に遺憾とする所である。併し庖丁其他双物に於て相當優良の製品を見たのは大に喜ばしい次第であ

る。一休金屬製品に於て大に研究を要する事は「材料の選擇と加工法」とである、近來は金屬材料に關する研究大に進歩し、^{ステンレス、スチール}鋼温度の變化に遇ふも大さを變化する事極めて少い鋼、又は耐酸、耐火性を有する鐵材其他輕くて強い合金もある。又炭素蒸の方法に就ても種々研究せられ安い地金を以て相當の双物を作る事も出来る。此他可鍛鑄物も近頃は種々の方面に應用せられ、鉄等の不規則なる柄などは鍛工に依らないで鑄物で作り、後之を鍛鐵に變化する。此は實地應用して相當の成績を得て居る鐵瓶の色付其他熱處理法を行ふ時に高温度計を使用し科學的に仕事をして良い結果を得たものもある、併し廢物を材料として利用する事も考ふべき事である。先頃東京の或自轉車製造工場で鎖を作つて居るが、薄い銅板の打抜き屑が多く出る、此が利用法が問題となつて居りましたが最近之を利用して屑籠を作り表面を美しく塗りましたが出したが相當良い價に賣れる、且又廢物の爲め一

が、能く注意すれば此と同様な事はいくらもありませう。又出品に鋼製の薬罐が数種ありましたが、此は板金製品としては可なり一般に使用せられますが、單に手細工に依つて普通の方法で作つたものでは工業品として多量生産の上より見れば何となく物足りない。例へば一部分「スピニングレース」を應用したとか又は他の機械を使つて均等なものを安く作る法を附加したならば面白からうと考へます。私が嘗て在英の時或工場で板金細工で一の壺を作つたのを見ましたが、此は多量外國に輸出するもので、其價も比較的安い壺の周圍には種々の凹凸が出来て居ります。此を如何にして作るかと云ふと、一枚の眞鍮板を所要の形を持つて居る鐵型の中に入れ、内部に壓力

を有する水を入れ、型の内面に添つて變化せしむるのである。水壓を用ゆる故に製品は皆均一に出来且手間も安い單に徒手鎚を使つて叩き出して作つたのは技工としては見るべきものであるが、工業品としては充分なるものではない故に、製品は等しい出来栄へでも其製作方法に相違した点があれば成績も異なるわけである、依て將來の品評會に於ては單に製品のみを出品せず、其製作方法、又は加工順序等も標本を用ひて出したならば技術上利する所が多からうと考へます。

今後開かるゝ品評會には皆様方の御努力に依て一層優良にして多數の金屬製品の出品あらん事を切望する次第であります。(終)

品評會のぞき

香川 又 二郎

刑務所作業の製品品評會を催すといふ事は從來例の無いことであるから、最初の試として其の計畫施行の順序等を如何に定むべきか、其の出陳される製品の審査、販賣其他の處分、整理方法は如何にすべきか、斯様な肝腎な要件に就て、豫め充分の考慮を拂はれたのであらうが、品評會の目的趣旨が那邊に在るか、其の點は全國刑務所に通ねく徹底して居たが、少くも其の或部分には徹底しなかつた所もあつたやうである。露骨に云へば品評會には優良な製品に對して優秀の批判を受けるのであるが、製品を紹介して販路を擴張するのであるか、特産物の展覽を目的とするのであるか、といふやうに種々に解せられたやうであつた、品評會の目的は圖案意匠加工の優秀は勿論其用方の便否、需要者の嗜好又製品の價格生産材

料の適否其他諸方面から觀て、優秀を比較し批判して採長補短競ふて相勵むやうにさせたいといふ試であるが、右のやうに其旨趣を充分に領解せられなかつた人もあつた其の結果として、出陳された製品は、(一)生産材料に重きを置いたもの、(二)技巧に専ら意を用いたもの、(三)販賣を主とし技巧を軽じたもの、(四)實用向きなるも格好の工夫なきもの、といふやうに一方に偏重偏輕の嫌あるものが尠くなかつた、それから(四)農産物を出陳されたのがあつたが、農産物の品評會でないから目的には副はぬが、それでも優良なものなら刑務所の生産として参考になるが、至て平凡な卑劣なものが出陳された、林檎の如きは十錢で三個位の値段の東京の果物店では最下位に屬するもので、御愛嬌にはなつたらうが滑

積なものであつた。

陳列場を一瞥して第一に感じたのは、陳列場の狭隘なりしこと、陳列の拙いことであつた。これは豫め出品點數の豫想のつかなかつたのと、一定の期日までには品物が到着しなかつたり案内なしで品物が來たりしたのと未だ経験のない初めての試であつたから己むを得ないことであらうが其一例を云へば會場で即賣する品と非賣又は參考品とは各其の配列箇所を別けた方が可いと思ふが、それが同一の場所に混同させたり觸れ合せたりしたのは見苦しかつた。

陳列場を一巡して製品の優美なもの高價なもの嚴丈なもの廉いもの醜いものといろ／＼と眼に映じたが概括的に感じた所では

意匠を凝らした蹟が乏しい

圖案に據つたものが少い

生産材料選擇の用意が足らない

大量生産が行はれて居ない

製品の價格が統一されて居ない

刑務所の作業製品には意匠を凝して居らぬ、圖案を拵へた蹟が見えぬとは、今日迄世間一般に評判されて居ることで、これは製作者が社會から遠かつて居て一般嗜好の遷り變りが分らぬのと、其の指導者がない、指導者があつても從來の因襲のまゝに従つて居ると作業担当の役人に技術に關する智識が乏しいからである、加ふるに場所柄が頻繁に新陳交代があり其日々々の仕事の科程が定られてあるのが、其の期待に副ふことの出來ぬ原因であらうかと思ふ。生産材料は製作すべき品目數量等を斟酌して、何材料を用ゆべきか幾何の材料を要するか、其の仕上直段が幾許になるか即ち材料費加工賃等をも積算して最初に取定めねばならぬが、若し仕上直段が高價に上り需用に供しないと認むる場合には材料を變更するか二個を製作する材積で三個を製作するとか出來るだけ材料の過剩不足の生じないやうに工夫を廻らして採算の衡平を得るやうに意を用ねばならぬ、中には高價な材料

品評會のそき

を用ゐずして塗料を利用すれば、それに劣らぬ製品が得られ廉價に賣捌かれるのと思はれるものもあつた、此等の用意が足らないと思ふた、大量生産は需要供給の關係を攻究して円滑に製品を取捌てゆく必要があるから、一刑務所が其地方のみの需要關係を見て定めることは困難で大量生産をすれば製品が停滞して處分に苦しむやうになる、それで大量生産の跡が見えないのは當然で強ち咎むべきではないが、これが行はれるならば前に述べた材料の選擇も便利であり其用法が劃一されて、材料費を節し加工費も減じ整理の手數も省けるから従て廉價に賣捌くことが出来る、一定の品を同一の値段で一手に受負ふ便利もあるのに未だ其の運びに到らぬのは遺憾である、價格の不統一と云ふのは、材料の種類品質數量が略同一であるのに賣價に著しい差があるのを指すのである。同じ檜でも品質に差があり製作者の技術に差があれば仕上りの値段が同一でないのは當然の事であるが、此等の點は略同じであるとして甲乙價格が異なるのは、材料

の原價、材料の選擇、利用の當否、製作者の加工日數其の見積工錢、見積の益金といふやうなものが刑務所々々で適宜に定めるからであらう、市價を斟酌することも一つの要件ではあるが、元來原價が各刑務所で異なる、それに幾割かの益金を見積るも亦適宜であるのに市價亦一定のものでない同一地方に於てすら始終變動する、それを標準にするのも困難であるから、假りに其の市價を斟酌したとすると各地から東京に集つた品の直段に著しい差があるのは不思議でない、價格の統一は永久に望み難いことであらうが、切めて利益金だけでも原料費加工費の幾割といふことにすれば大なる差のないやうに賣價を緩和することになる、それと材料の仕入期を同一にする、出來得べくんば一刑務所で大量に仕入れて各地に分配することとする、其上一日の工錢率を定めれば一律不動の額は算出し得ずとするも略相等しい價格で賣捌かれるではあるまいか、官營の一人一日工錢を全國同一に定めることは左程難事であるまいと思ふが、何うであらうか、此製品の

價格の差は即ち國庫收入に大影響があるのであるから、慎重に調査研究すべきであらうと思ふ、差當り實行し易い作業例へば靴、抄紙、印刷といふやうな原料の多種多様に涉らぬものだけでも、日額の工錢を定めるか、仕上個數で工錢を定めるか、技倆に依つて甲乙とするか、成合のみでなく、修理の手間賃でも一定にすれば各刑務所區々の適宜處分が廢せられ、價格の統一のみでなく整理の上にも益する所が尠からぬ事であらう。私は曾て官司業の炊夫掃除夫看病夫といふやうな一日の作業科程を時間で定めた者だけでも一日工錢幾何と東北六縣だけでも一定にしやうではないかと東北刑務所長協議會席上で提唱したが其の際反對の理由も聞かなかつたが一人の同意者をも得なかつた、今日も猶其の意見を持つて居る、此の種の作業工錢を全國一律にし其の給與歩合を同一にすることは難事ではないが合理的でないであらうか偶品評會に出陳された品物の價格に就て感じた所を陳ぶるに當

り、此の記憶を喚起したのであるが、斯様な最易い點から統一して漸次に製品の價格に及ぼしたいと思ふ。陳列品の個々に就て見れば、少し意匠を廻らして構造を工夫すれば高尚優美な器となるであらうに惜しい哉平凡な劣等化したと思はれる品があり、流行後れのもの實用に適應せざるもの、手丈夫に過ぎて美の感を殺ししもの、此の如き點は素人眼にも映つる、若し夫れ専門の技術を有する人から觀れば、材料の選擇が悪いとか、材料の消耗量が多過ぎるとか、製品が華者に過ぎるとか、精巧却て使用に簡便を欠くとか、價格が時價に比して不廉であるとか、塗料染料の選擇調査が拙いとかいふ批難があつた、これは製作者の作業に對する品性、趣味が下劣であるのと、需要者の嗜好を測る明がないからであらう。素人眼では一見して、綺麗だなどと思ふもの、簡便だと思ふもの、手丈夫なもの、廉いもの、構想が緻密なもの、斯ういふ品に快い感じを起すのである、必ずしも高尚な材料でなくとも塗料の調査や彫刻の意匠で高尚とも優美とも

見えるのであるから、製作者は斯様な素人の考案も参考にして獨特の工夫をするやうにすれば、案外工合のよい品が出来るではあるまいか、これが一瞥後に思浮べた感じであつた。

品評會に關する所感と其所感に據て改良せねばならぬと思ふた點は叙上の通りであるが、尙其の補遺として述べたいのは、時々各地の製品を或刑務所に蒐集して今回催された品評會の如き大袈裟のものでなく小規模のものでも可いとして、之を其技能の有る受刑者に看覽せしめる必ずしも刑務所の製品と限らず一般の商品をも取寄せて製作の参考資料とするのも一策であらう、製品の模型を作つて之に倣はせるのも作業訓練の捷徑であり兼て意匠圖案の智識を養成することになるであらうと思ふ、製作に要する材料は幾許を費すべきかは受刑者任せとせず豫め作業技師が擔當者が算出して擔當量を交付し、場合に依りては材料の價格を受刑者に告げて、屑滓を出さぬやうに使用上に注意させる、殊に個人から材料を提供して

製作を注文された時は一層其材料の使拂に注意すべきで、材料に過剰があると見込んでも必要の程度以上に使はず過剰の數量は返還するのが正直な取扱であり注文者に安心を與へ満足させる當然の處置であらう。それから塗料や染料の配合等は製作者一人に委ねずして衆智を聚めて、研究し試験するといふやうにすることは不可能であらうか若し出来得るならば比較的時流に適し嗜好に合するやうな品を造ると云ふ効果があるではあるまいか。附帯意見としては注文者の意に満たぬ所謂不合格となる品を製作したとき又は注文通りに出来ても自然に製品に狂ひを生じたり瑕疵が出たりしたときには製品の價格を低減し又は無償で仕直しするのが穩當であらう、それを一旦注文者に引渡した上は其手入仕直しまでも修理費を徴収することが多いが、これは無理な形式に提はれた取扱であると思ふ、社會の當業者なれば詫言ひた上に仕直しする場合である、それから販賣の方面に就て云へば、賣却の手續を簡便にすること、賣却すれば製品代價を納入

告知書を發して銀行へ納めしめる、それも大金なら未だしも僅か五十錢や壹圓の品を買ふにも一々銀行へ其の代金を納めるのは需要者には煩はしい面倒な手數で堪えられぬことである、近年此の手續を履まずとも便利に取扱はれる箇所もあるが未だ地方の刑務所には窟屈な因襲を續けて居る所もあるから改めて戴きたい、次に製作の期日を豫め約束したならば、其期日を違へぬやうにすることである、動もすれば官僚式でも云ふか、勝手な理由をつけて期日通り製作せぬことが多い、これは心懸の悪い仕打である、次に注文を受けた時に見積つた價格と製作後の實價とが著しい差がある、普通商人に注文すれば最初の見積價格と出來上價格とは同一である、お役所仕事だからとて見積價格と出來上價格と異つて差支ないと

いふ道理はない、これは最初に材料費や人工や益金を仔細に計算して、前後價格に差異のないやうにすることである、此等の點は信用に重大な關係を及ぼし作業の發達改良の上に影響することであるから慎重の用意がなくてはならぬ。

要するに製品品評會は作業振興の爲めに非常に良い試みであつて、之に依つて刺戟と教訓を受け作業獎勵上裨益する所の多かつたことは莫大なるもので筆紙に盡し難い程であつた、此の反響は必ず近き將來に顯はるゝであらうと思ふ、出陳された品は幾んど全部販賣されたそうで誠に仕合であつたが唯此の好機會に於て作業に對する名譽を贏ち獲ることの尠かつたことを憾とする。

品評會の教へた刑務作業

江村 繁 太郎

品評會により與へられた刺激は刑務作業の各方面に涉り影響する處廣汎にして、流れの緩い瀧水に隕石が落下したやうな觀がある、技術方面に就いては斯道の權威者より適切なる講評あり、將來進むべき道筋は明瞭にされた、然るに刑務作業は普通の場合と違ひ特殊な關係にある、即ち刑務所の製作品は指導者、ある意味に於ける教育者の側と製作者の側との合作になるものが多い、例へば原料を與へてやり方法を授くるのは指導者で、そして原料より形に進む運動は收容者である、故に製作品に對しては指導者の側も責任を分擔する譯で、形に進む運動者のみを責むべきでないと思ふ。

一、平凡である。
 二、獨特の考案に乏しい。
 三、垢抜けがしてゐない。
 四、調和がとれてゐない。

此の表現に付「技師」としての指導は暫く置き收容者の教育的指導に付一言して見たい。

審査員たる専門家の講評から品評會に現れた製作品の通有する缺點を抽象すると左の如くである。

從來刑務所の作業は一般の工業と別の觀念で見られてゐた、それは刑法に所謂定役に服すの規定から割り出して強制作業と稱し、一般工業の任意作業と相對し如何にも不自由な而かも發意と考案を除外せられた、機械的の運動のやうに自他共解し正しき解釋としてゐたやうである。加之刑罰の應報觀念を混用して苦しみの爲の筋肉

運動即ち苦役なりとの思想が近頃まで存在したことは事實である、刑罰の執行であるから、強制作業であるからと云つて、作業の休憩時間をも與へざりし時代はあまり遠き歴史ではない、刑罰の執行にせよ強制作業にせよ、人の筋肉運動には限りがあり、就業者はよく自覺してゐた、即ち疲労の來らざるを程度として前後の時間を考へ就業するまで、一も二もなく仕事をさす強要して作業に就事せしむる意味は徹底してゐない。こうした無理のある心理關係に基く刑務作業は量に於ても將た質に於ても發達すべき筈はない、恰も木によつて魚を求むると同じである。



(一) 刑務所製作品品評會の場

定役に服する強制作業なる意味は如斯難きを求むる惨虐なものではないと思ふ、一定の刑罰に處せられたものは作業に従事せねばならぬとの意味で苦痛の爲に仕事をさすの趣旨ではあるまい、苦痛を與へんとするなれば寧ろ定役に服しない方を苦痛とする、現に定役に服しない刑罰に處せられた者も自ら請ふて定役に服するではないか、吾人は從來の極めて事に現に暗い消極的の考へを抛棄して新しき思想の下に刑務作業の指導に従事せんことを期してゐた、幸ひにして今回開催された刑務所製作品品評會は如實に此思想を表したもので、舊來の思想は持ちたくても抛棄せねばならぬ運命に到着したのであるのである、即ち刑務

作業である一つの生産的事業は一般の工業と同じく工業品を産出するものである、故に製作品を集めて専門家の講評を乞ひ之を社會化して其振興を期したい、之が今回品評會の目的である、從來の強制作業機械的運動の觀念とは全然違つて來た、換言すれば作業に自然的の意味が濃厚になつて來た、強制作業機械的運動の作品なれば品評するの必要もなく、縦令品評するとしても根本に於て矛盾した仕方となる、今日尙定役に服す又は強制作業などの言葉は變らなくとも、其の實質内容に於ては一般工業の原則に支配せられ社會化せられた意味が含まれてゐることに注意せねばならぬと思ふ、今回の品評會は刑務作業に關する思想の革命である。

二

工業品は製作者の理性と感情を表現したものである。品評會は物品の競技であるが根源に遡及すれば表現される人格の競争である、此の意味よりして刑務所製作品の品評會は收容者の人品を表現したものと云へよう、前

示第一の平凡であるとか、第二の獨特の考案に乏しい、などは刑務所製作品としては毫も怪しむに足らないと思ふ、それは周圍の者がかく指導し、かく教育したのである、機械的運動を強いた表現である、お互に内省すると直ぐ判る、即ち定役に服するのである、又は強制作業に従事せしむる者であるなどの思想に支配されて、平凡とか獨特の考案とかは作業の上に縁遠かつた、目覺めてみれば作業指導者として責任の盡きざりしことを甚だ遺憾に思ふ、第三は受刑者の日常に於ける心情生活が腐す反映で、第四は受刑者の美術鑑賞眼又は藝術教育の足らざるに基因するものである。垢抜けのしてゐない、又は製作品に生氣がない、といふのは製作者の氣分と密接なる關係がある、吾人の日常生活を顧みるに此の氣分が處世上の關係を持つてゐる、元來理智とか感情とかは時に應じて起るものであるが、此の氣分は稍や常性的に存在し凡てに反映する、故に作品にも遠慮なく表現する、氣分

らるゝやうである、愉快なる感情より産む気分は常に希望を有し理性に富み考慮判断の餘裕があり、不快なる感情より産む気分は常に失望を伴ひ逡巡遲滞して明瞭を缺く、之を受刑者の側に聯想して見ると同情にたえないものがある、即ち自分は罪人であるとの自覺、拘禁生活、極めて小さい自我、如何に絞つても快感の出處がない、漸く年に幾回かの活動寫眞又はレコード音楽並に雜誌や書籍の親しみより受くる教養位のもので、製品の垢抜けがせず、生氣がないと云ふのは茲に原因するのではないか、作業に對する時は彼等の周圍を可成不快な感情より離れ、スガ／＼した愉快な気分を與へてやりたい、そこで作業は一切を離れて神聖なものとならねばならぬ、そして其の神聖を汚す凡ての行爲は懲罰を明かにし苟もせざることを肝要とする。

三

第四の美的觀念の養成、近代の言葉で云へば藝術教育である、受刑者に藝術教育などとは人を笑はせると言ふ

人があるかもしれぬ、然れども其欠陥が今度の出品に反映してゐるから争はれぬ、即ち作品の調和がとれてゐない、無用な裝飾をして俗惡と化せしめ折角の作品を損してゐるものがある、尙主催地刑務所の受刑者が陳列を見ての實感にも美的鑑賞の觀念に乏しいことを自白してゐる。

「美」とは如何なるものであるか、(一)美は形式と内容と一致して現はる、(二)人生に價値ある内容を以てゐる、(三)美は假象界に屬する、(四)美は有機的統一を現はす、これが大体美の規範で如何なる藝術にも適用せられる、工藝品から言つても此の規範を脱することは出来ぬ、受刑者には此の原理より出發する應用觀念が極めて乏しい、美的觀念の乏しい原因は根本的に考ふる和美は道德に通ずる密接の關係よりの犯罪人固有の性質かも知れぬ、果して然らば美的の教養はやがて非社會性の改良をも意味することになり一舉兩得の働をなすともいへる。刑務所にては斯る美的教養の機會が極めて尠ないた

め、美に對する感情——感覺は寧ろ飢へてゐる、それは僅かな色彩の繪畫を與へても非常に濃厚な色彩と感じ、探るに足らぬ工藝品でも如何にも立派なもの如く見、製作者自身に於ても獨斷的に良いと思料する傾向あるは吾人の日常經驗する處である、此等の弊を除去する爲には將來相當の考慮を拂ふ必要があると信する、此の弊に陥る主なる原因は相互交通の自由がない爲、比較研究の餘地がないのに基くものであらう、故にある一部の刑務所には工藝品の常時陳列場を設け、刑務所製品のみなら

ず一般工藝品の参考となるべきものを陳列し受刑者の比較對照の便に供すると共に、美的觀念の養成につとめ又は國案の如きものをも彼等の参考としたい。要之受刑者對作業の關係に於ては飽く迄も作業の神聖を保ち刑務所であるとか乃至工場であるとかの差別觀念を全然撤去し技術的の事は勿論、以上の如き教育的欠陥をも之を補ひ指導するの要あるを痛切に感じた、此度の品評會を刑務作業の畫時代として、吾人指導者側の奮勵を願いたい。

品評會偶感

前田 靜雄

今回企てられた第一回全國刑務所製作品々評會は巢鴨刑務所に於て開催せられ諸官廳關係者約二千名の觀衆を迎へ盛況裡に閉會した。而して其の出品數は千三百点に

上つたが殆んど賣り盡されたのである。然も此の賣約が第一日に於て多數を占め、第三日には賣れ残りの品物も尠く、其の日の入場者中には「買ひ度くても皆賣れて居

ては此處迄来た張合がない」と呟く者も尠くなかつた。

之を觀ても如何に盛況であつて、刑務所の製品が觀衆に如何程歡迎せられたかは想像することが出来よう。故に、若し此の催が刑務所製品の販賣を主なる目的として行ひ、同一製品を澤山陳列して顧客を迎へたならば、恐らく第三日の入場者にも充分の満足を得させ、又出品点数を如何程増すとも之を賣り盡すことは易々たる事であつたであらう。然し乍らこの會は販賣を目的としたのではなく、従つて觀覽も一般市民に許したのではない。行刑作業の方針である官用主義に則り、諸官廳關係者に限り、其の目的とする處は刑務所に於ける製作品は如何なる種類のもので又如何なる程度の出来栄であるかを廣く紹介し之が利用を薦め、官用主義の徹底を期すると共に製作品を審査、品評し長所は益々助長し短所は之を補ひ而して其製作品が社會の趨勢に遅れない様に努め以て受刑者の職業訓練に資したいが爲めである。

斯様な目的を持つて居るのであるから、一般社會に於

ける品評會とは稍趣きを異にして居る。然るに本品評會に出品せられたものの中には、此の考へを取り違へたと思はれるものも尠くなかつた。此の点に就て感じたことを述べて見よう。

此の品評會は前に云つた通り受刑者の職業訓練、他官廳へ刑務所作業の紹介を目的としたのであるから(一)出品は實用品であることを條件としなければならぬと思ふ。然るに出品中には大分實用品から遠ざかつたものもあつた。斯様な特殊な品物は數多く製作せられるものではないのであるから、職業訓練として其の價值が疑はれる。斯様な特殊なもの、又は奇抜なものを特に選んで出品するのは品評會展覽會等に於ける通弊である。

而して茲に注意を要する点がある、即奇抜と新規の工夫とは全然別箇のものであつて、奇抜とか珍奇の品と云はれるものは特殊の人々のみ賞揚せられるが、一般需要には向かないのである。而して此の會の目的から考へても斯様な品物は排斥しなければならない。然し乍ら新

品 評 會 例

規の考案に就ては大いに獎勵したのである。即新規の工夫は寧ろ其の製品の實用的價值を増し、従つて需要を増加し、社會の趨勢に適應せしめることを得るのであるが、今回の出品にはこの嶄新味を認め得るもの尠かつたことを遺憾と思ふのである。

(一) 縱令實用品であつても品評會出品を目的として特に入念に拵らへたものも、この催の目的には副はないと思ふ。然し乍ら人情の自然、之を絶体に否むことは不可能かもしれないが、殊更入念に時間と努力とを吝まらず製作したものに至つては本企劃の主旨を全然没却するものであ



る木工製品の如きは素晴らしい材料を使用しその面に現はれた空の如きは又と得難い様なものが使用せられ、入念に仕上げられて居つた。この

品の如きは之を注文しても再び之に匹敵する品を作り得るかを疑はしめる。斯くの如きは偶々斯様な材料が手に入つたのを機會に品評會を目當てとして特に拵らへたものであると云ふことが一目瞭然である。

(三) 又或る刑務所に於ては僅に一二名の優秀な職人が幸に收容せられて居たのを好機とし、この受刑者を賞勵して彼が社會に於て有した特技を以て優

良な品物を製作させ、出品したのもあつた。斯くの如きことも本會の趣旨に悖つたものと思ふ。何となれば彼

等技能者が釋放される時は再び注文を引き受けることが出来ない。又收容中であつても大量の注文は思ひ及ばぬ所であつて、職業訓練の点より見るも將た刑務所製品紹介の点より考ふるも價値のないものと思ふ。而して縦令其刑務所が優良な成績を以て入選をしたとしても之は全く無意味なものとなるであらう。

斯様な点から考へると品評會出品は刑務所に於て訓練せられ、受刑者が習得した技能によつて製作し得るものたることを條件とする必要があると思ふ。即ち特殊受刑者による作業はその刑務所の作業を代表することは出来ない。唯一時的のもので永續性を有して居ない。然るに刑務所に於て訓練し得るものには該作業の安定を期し得るもので、縦令收容者は新陳代謝するとも、その作業の成績には殆んど影響なく繼續せられ、何時にても相當數量の注文を引き受けることが出来るものである。この点に當局は考慮し出品に際し、主要作業と條件を附したとと推測するのである。

次に出品の實質に就て感じた点を述べて見ようと思ふ。この点は審木員諸氏の諒評と重複する嫌があるから概括的に一言附加する程度に止める。

(一) 材料の選擇に就て尙考慮する必要があると思ふ。即不必要な所迄高價な材料を使用したり、その用途から考へて使用してはならぬ所に使用しかりすることである。斯様な点は木工製品に多く目受けられた所である。

(二) 材料に無駄遣はないかを疑ふのである。即瀟洒を費すべき細工に對し徒らに堅牢一方を無格好な仕上をしたり又用途から考へてふさはしからぬ大さの材料を用ふる等である。従來は刑務所製品と云へば頑丈一方を賞揚して居たのであるが、然しこれも程度があると思ふ。徒らにこれのみを考へ其の重量を増し、又その意匠造犠牲に供せられることが多い。是等の点は今後充分の注意をして社會一般の趣向に適合し、一般市場品に伍し得る様努めたいのである。

(三) 作業能率に就て考ふる時は社會と其だしき距離のあることを痛切に感ずるのである。出品中には所要時間間が非常に多く費されて居つて、之が爲非常に高價となつたものもあり、又吾人の解釋に苦しむ程の人工が掛つて居たものもあつた。一般に、所要時間は多少経り過ぎて居る様に感ぜられた。その原因の一つは科程に依らな

を深くする。使用材料との調和、用途との關係等が無視せられて居る点が尠くない。

い時間制の爲めである、是等は勢ひ時間及勞力が消費せられることが多い。他は科程にしても其の標準が低きに失ふことと思ふ。其他種々の理由のあることであるがこの作業能率に就ては尙充分の研究を要することと思ふ。

斯く數へ來れば際限がないが、作業の設備、監督機關其他の点に就て種々不備の所もあり、正に改善の機にあつて、今や將來に於て其の面目の一新せられんとして居る過渡期にあるのであるから、之は今直ちに責めるのは無理かも知れない。

品 評 會 偶 感

此の品評會を機會に益々努力し次回の品評會には面目を一新した品物を出品することを期したいのである。

本品評會の直後、商工省主催の工藝品展覽會に於ける社會一般の出品を觀たが吾刑務所製品とは尙可なりのへだたりがある様見受けられた。

品 評 會 偶 感

殊に木工製品に就ては殊に重要な点である丈其の感

を一新した品物を出品することを期したいのである。

品評會の出品を見て

秋 保 謹 四 郎

品 評 會 の 出 品 を 見 て

今回開催せられた刑務所製作品々評會は其規模に於て未曾て其類を見ざる大品評會であつて、刑務所作業の向上を計る上には、如何に大なる効果を挙げたかと云ふことは、吾人の等く之を認むるところで、實に斯界の爲同慶に堪えぬ次第である。

刑務所作業が刑の目的を貫徹する上に於て且又刑に伴ふ國家經濟の負擔を軽減せしめんが爲、刑務作業を重要視せらる、今日斯る企があつたと云ふ事は、誠に時代の趨勢に伴ふ當然の催であると云はなければならぬ。而て各業種に互れる出品物の批評は、審査委員が發表せられた事であるが、今茲に出品業種中最多數を占むる指物製品中より吾人の目に映じたところの主なるもの數点を例示して、聊刑務所製品並作業に對する所感を述べて見た

いと思ふ。

名古屋刑務所出品 茶籠、筒

審査の結果、優良の賞状を得た作品であつて、工作及仕上方に於て實に精巧なるのみならず、殊に意匠に於て實に優秀なることを、認め得らるゝものであつた。即ち茶籠筒全体の形態に於て、安定、變化、釣合、各條件を、完全に具備して、之に施せる天平式實相率模様を現代化する浮彫は、良く其形態との調和を保つた作であつて、高等製品としては一般の嗜好に適せるものであつて、市場の優良製品と比較しても決して損色無きもので、同刑務所の誇とするに足る高等指物製品であることと思はれた。

豊多摩刑務所出品 角火鉢

巢鴨刑務所出品 長火鉢

審査の結果何れも優良の賞状を得た製品である細工及仕上方最善を盡せる作であつて市場の優良製品に肩を並べ得るものであつた。加ふるに、角火鉢は寄蟻の耐乾組手を施し、且其形状に於ては現今の流行に伴ひ、社會一般の嗜好に適せるものであつた。抑火鉢は需要の多き日用欠く可からざる實用品であるが、時代の趣味向上に伴ふ様に、形状に於ても充分研究された作であつた事は實に稱讃すべきもので、斯の如き製品を其刑務所作品の中に入れ、大量製作に務めたならば、好成绩を擧げる事が出来ようと思つた。

巢鴨刑務所出品 隅棚、洋服算笥
小菅刑務所出品 組椅子

何れも佳良の賞状を受けた製品であつて、材料の適用方法、工作及仕上方、稍精巧なる作であつて、隅棚の如きは意匠に於て特に優秀なる事を認めることが出来た、刑務所作業に於て、一般需要者の嗜好に適せる洋家具を

指導することは、將來社會の生活向上と共に益時代の要求に伴ふので受刑者に作業を課する目的より考察しても極めて有利なる作業であることと思ふ。

秋田刑務所出品 本箱

巢鴨刑務所出品 桐算笥、角火鉢

審査の成績何れも佳良の賞状を受けた極めて精巧なる製作の出品であつた。本箱は杉紐を用ひ、其形態は藤原式を現代化せる池日本式の誠に上品なる作品であつて、材料の適用は其形態と良く調和を保ち得た事は、大に賞すべき價値ある事を認めたのである。

以上是指物工出品中、審査の成績優良佳良なるものを擧げて見たのであつて、指物製品、百數十点中より特に優秀なるもののみを抜粋したに過ぎないのである。

翻つて、一般に互つて通覽研究する時には、刑務所製作品通弊とも稱すべき欠点が多々ある事を見出されたので研究と改善の必要なる事を痛切に感じた。

某刑務所出品樺材唐机は其形状及仕口、組手も、相當

の出来栄ではあつたが、鉋仕上げと塗料の施し方が粗略であつた爲、製品の品位を低下せしめた事夥く、樺材の立派な木目を無造作に塗酷にも塗り潰してしまつたのであつたが、市場製品即ち製作者が製品に對する利欲を持つて居るところの作品には、斯る失敗を見る事が出来ぬもので、斯の如き例は獨刑務所製品にのみ屢見ることが出来ると思はるゝ。而して之は指導監督の任に當る人の注意の如何によりては未然に防ぐことを得べきである。

某刑務所出品丸卓子椅子の一组は丸卓子の中に四分圓形の椅子四個を入れ納めようと思ふ考案より生み出さ



(三) 場會評品品作製所務刑

れた製品であつて、其着想に至つては之を稱讚する價値が充分あることを認めらるゝものであつたが、其工作法甚其粗雑であつて、卓子の安定も殆ど覺束なく、椅子張も亦拙劣であつて、其用に堪ゆる保壽し難きのみならず、直立せる椅子の寄掛りは、奥行狭少な爲之に掛けるに殆ど苦痛を感じるものであつた。即ち實用的方面よりも欠陥の甚しきものであつて、更に之を意匠につきて觀察するに、卓子の脚部に施せる彫刻は、卓子椅子形態と何等の調和をも見出されなかつた。且又椅子の直立せる寄掛りは殆ど變化も無き何等の趣をも見出されないのであつて、卓子の中心に向つて四個の椅子を組入れた時の外觀は甚

風景極まるものであつた。

思ふに此作品は、工作法に注意を拂ふと同時に、意匠及實用的見地よりも考慮して、長方形の寄掛りには變化と適當なる加工を施して實用的方面には椅子の奥行を深くする爲、卓子の直徑を今少々大きくするか、若くは、卓子の形を椅子の組入れの爲都合のよい他の形に研究して製作したならば立派な着想の下に優秀なる理想的卓子と組入椅子、一組を作り得た事であらうと思ふ。

某刑務所出品紫壇製菓子器は蓋のつまみに極めて綿密なる彫刻の大黒を取付けたもので、彫刻の技術と其努力には相當敬意を表してよいものであつて、又菓子器の仕口組手の如きも稍入念の作であると思つてたけれども、菓子器の形状より之を觀察するに菓子器の深さは中に比して深きに過ぐるのみならず、上開きなる形は安定と各部の統一を欠き、蓋つまみの大黒彫刻は、菓子器に關係なき置物を据え置いた感を起さざるを得なかつた。思ふに菓子器は美術的工藝品であるに係らず、一般の嗜好に

適せる形態意匠を研究する事に力を入れなかつた事と、材料及人工の經濟的使用に注意する事が少かつた事が此作品を作り出す時の大欠点であつたと思はれた。而して是等に類似の欠陥は獨此製品に限らず、他の作品中にもあつたのである。

某刑務所出品茶棚は、桂材に櫛の張りであつて、各種の彫刻、木象嵌張付等、多くの裝飾を施し、極めて、裝飾と細工に努力を拂へる精巧なるものであつて、實用的作品に時代の生活向上に伴ふ趣味を加へようと着眼したところのものであつて、稍奇麗な作品ではあつたが、完全なる工藝品の立場より觀察するに、たゞ徒に形状と意匠の變化と澤山の裝飾材料とを持つて居るのみで是等の調和と統一を缺いたところの拙劣な設計による作品であつた。要するに、意匠が拙劣であつた爲、多くの工作技術と努力を破壊したるものと云はなくてはならぬのであつて、是は刑務所指物工に於て従來圖案を輕視せられて居つた弊害と云はなくてはならぬと思ふ。

其刑務所出品洋服鞆等は總柄に杉柀張付の極て上品なる高等製品であつて、其細工及仕上に於ても賞すべき入念の製作であつたが、實用的方面に就て大なる欠陥は製品の價値を低下せしめたので、誠に遺憾なる作品であつた。即ち鞆等の開戸内釣であつた爲、亂箱の出入殆ど困難であつて、實用上大なる欠点と云はなければならなかつた。斯の如き場合は曲折螺番を附けるか、又は外釣となせば勿論かうした問題は無かつたので、不注意の爲の大失策と云はなければならぬと思つた。

以上は指物工の出品中特に優秀なる作品及著き欠點あることを思はしめた主なるものを例示して見たに過ぎないのであるが、是等に類似の製品は唯指物工のみならず、各種の業種を通して少なからずあつたのであるから、研究的に出品を觀察せられた人々は、各製作品を對照比較して其助長改善の上に得るところが澤山あつたことであらうと思はれる。

抑以前は刑務所製品と云へば 價額が安いのと丈夫で

であつても、製品が基くところの設計、若くは、設計圖案の良否に依つて價値を左右せられる事が甚しいのであることは前述の例示に顧ても明なる事實であるから、實用的、若くは、美術的製品なるに係らず其設計若くは設計圖案に就て研究して、社會一般の實用的希望と生活趣味の向上に伴ふ嗜好とに適應せる製品を作ること忘れてはならぬ。

而て設計若くは設計圖案に就ての研究には主として實用的方面及裝飾的方面並經濟的工作方法等より出發して、しかも其製品が受刑者の職業訓練上並作業收益の關係上よりも有利なりや否やを研究したところのものでなくてはならぬ。

二、製品の工作は精巧であつて、しかも時代の進歩に伴ふ最適切な工作方法によらなくてはならぬこと。

製品の工作は設計圖案と相俟て製品の價値には、大なる影響を及ぼすものであることは勿論で、前述の例示に

あると云ふことだけが特長であると云ふ事を恰刑務所製品に對する標語の様に思はれて居つたものが、今日の程度迄製品が向上して來たことは目下刑務作業が益重要視せられて來た事と社會の生活向上に伴ひ製品に對する種々の要求が多くなつて來た事に基く自然の現れに外ならぬので、今回の製品を總覽考察するに、指導監督方法が宜敷を得たならば、各業種とも市場の優良製品に劣らぬ製品を作ることが容易であることを認められたので、吾人は此度の刑務所優秀なる製品に對する喜と將來の製品の向上に對する幾きぬ希望とに充されたのである。

要するに、今回の品評會出品に就て考察して製品の向上と作業の進展を望む上に於て、希望の主なるものは左記各項に述ぶるが如きものである。

一、製品は設計若くは設計圖案に於て充分に研究したる後、工作に取掛らなくてはならぬこと。
製品は其着相に於て如何に斬新な趣向をもつて居るのであつても、又は、細工、仕上等、如何に精巧なもの

よつても明な事である。即ち如何に使用材料が上等であつても、設計圖案に於て充分に研究されて居つても、工作が粗略拙劣であつた場合には其製品の價値を低下せしめる事大なるものであるから、工作に當つては充分の注意と努力を盡して、しかも時代の進歩に伴ふ最適切なる工作方法を研究したものに依らなくてはならぬ、特に材料の適用と經濟的工作方法並製品の實用的工作方法に注意して、併せて細工並仕上の精巧に務め、一般の嗜好に適する製品を作る事に務めなくてはならぬ。

三、是より有利なる製品に就て規格を定めて大量製作
販賣を務むること

今回の出品に對し同一製品の注文申込者が澤山あつたことから考察するに、作業能率の増進を計る爲には成る可く一般の嗜好に適し、且受刑者に作業を課する目的に適合する製品を選で其形態、意匠、工作方法、人工、材料費、販賣價額等を研究して、其刑務所に於ける最有利なる製品に就て規格を作つて大量を製作販賣する事に務

めたならば、作業能率を増進せしむる上に極めて有利なる事を信するのである。

四、刑務所作業指導方法の研究と改善を要する点と

品評會出品を観察するに是等優秀作品の助長と刑務所製品の欠陥の通弊を一掃する事は刑務所作業指導の任に當る人々の努力に依らなければならぬ事である。翻つて現在我國に於ける刑務所作業を見るに、受刑者の職業訓練及國家經濟の上より作業規模の擴張、有利なる作業種類の選定、受刑者別作業賦課方法、作業能率増進方法、作業労働時間の改善、其他作業奨励方法等、時代の進展に伴い追々改善せられて行く事は斯道の爲欣喜に堪えぬ次第である。

斯の如く作業の訓練、若くは國家經濟の上に於て各方面より研究も致し改善もせられては居るけれども、作業訓練上實に重大なる關係を有する作業指導方法の研究と改善とが獨閑却されて居る感があるのである。但之は直

接指導監督の任に當る作業技手、技師の設置があつた爲、自然追々解決せられて行かなければならぬ問題であると思ふが、受刑者の職業訓練、製品の向上を計る爲には、目下の急務の一つであることと思ふ、而して之を實行する爲には先現在の作業指導方法の欠陥を研究して、進で作業指導方法改善の方策を確定して進まなくてはならぬ事であると思ふ。

作業指導方法の欠陥は刑務所に於て作業を比較的輕視せられて居つた所謂授業手時代の舊徒弟指導方法が未其跡を絶たない爲であると思ふから、作業指導監督の任に當る人は須く現時に準應する教育的作業指導方を研究したならば、改善の道が澤山あることを見出さるゝであらふ、かくして作業を訓練して行く事に務めたならば、自然今回の出品よりも遙に向上せる製品が續々現はれることを信じて疑はぬのである。(完)

所 感 四 點

中 田 達 治

所 今回集聘刑務所に於て全國刑務所製品々評會の開催に付私も下審査に立會したので、所感を書く様とのことであるが技術家ならざる私に適評の出來様筈はないのであるけれども、素人の素人観も亦御参考の一端かと思ふので蛇足を附することとした。讀者に對して不遜の言があるので御叱を受くる覺悟で居るが餘り強き御叱なき様豫め御願して置く。

四 此度の催しは最初の試みであるから、局外者より見て不充分的點はあろうと思ふが、私の視た處では頗る良成績で大成功であると思ふ。併しながら尙御互に研究の餘地のある事もあろうと考へるので、氣付いた點に付少し書いて見ることにしたのである。

第一 出品中餘りに技巧を加へ過ぎたるものなきか、

第二 所要人工が餘りに多過ぎたるものなきか、

第三 實用品と裝飾品と混同したる嫌あるものなきか、

第四 時代の流行に遅れ居る點なきか、

第一 就業者の通有的弊として各製品に見角諸々の細工を加ふる事がある。讀者各位も常に認めらるる事と思ふ然るに出品中此批難ある物のあるのは、遺憾の極である。是れは就業者の罪ではない作業主任技師技手の罪である。畢竟作業主任技師技手が就業者のするが儘に任せ置く結果と言はれても致方ない譯である。今少し此點に注意を拂へば此批難は消散して餘計の人工や不休裁の品は出來ないであらう。

第二 所要人工が餘りに多過ぎる品がある。各業種に付ては、夫々科程があるのであるが、其科程に因るこ

との出来ないものも多々ある。則ち指物工の如きは尤も然りである。此等の業は勢ひ時間科程を以て製作せしむるの餘義なき結果の様であるが、是れは作業主任技師技手に於て其仕様に付協議の上、相當の假科程を附すること、せば作業の督勵にもなり、且能率の増進も出来原價も安くなり人工が多過ぎるとの批難もない譯である。一部の論者は科程業にせば自然粗製品の出来るのを覺悟せねばならぬと言ふであらうが、夫れは餘りに早計である、物には輕重難易がある、是等を顧みず粗製品の出来る憂があるからとて、總ての製品を時間科程となし漫然是にて安心するが如きは無責任も甚しいのである。尠なくも其製品の諸々に付假科程を附するを困難であるならば、其適當のもの丈なりと假科程を付するが當然であらう。我豊多摩刑務所は恥しい次第であるが、人工が多過ぎる傾きが有ることを認めるので深く考へさせられたのである。

第三 實用品でありながら、其製作方が裝飾品に等しき嫌のあるものがある。例へば茶棚、鏡臺、長火鉢、机、等にして寄木細工の如き品あり、如何にも實用品らしくないのがある。又折角技術は優秀であるが其仕上方が甚だ面白くないのがある。例へば長火鉢机の如きは常に熱き酒又は茶を滴すことがあるのにラツク仕上のものがある。出来た時の外觀は體裁は好いが熱いものに接すると、直ちに汚點が出来ラツクが剝脱するのである。如何に技術が優秀で有つても、汚點が出来剝脱しては人中に置けない不體裁のものとなるのである。是れらは漆仕上とするか、寧ろ蠟仕上とすべきであらう。收容受刑者を實物教育する點から考ても、亦刑務所の製品は頑固で實用的で其仕事が親切であると言ふ好評も爲めに裏切る事となる點から見ても、是れ等の點は相當考慮を要する肝要點であらう。

年以上在所するものより撰定する必要がある。釋放後一般職工と競争し落伍なからしめんには、常に流行に遅れない丈の訓練を爲さしむることが肝要である。作業主任、技師、技手、は外出の機会が多いのであるから、其機會を利用して市中各商店に陳列してある商品に付き、研究的注意を拂ひ各製品に是れを應用し、時代の流行に遅れない様にするは、職責

上當然であり、就業者の職業的訓練ともなる譯である。然るに地方的需要の關係もあらうが、出品中随分時代の流行に遅れ居る製品の見へたのは作業主任の立場から好参考を與へられたのである。以上は單に概觀的所感であるが、各關係の人々からも寄稿があるから是れで擲筆する讀者の強き御叱がなければ幸である。

開 會 す る 迄

江村さんから品評會について何か書けと荐りに御催促があつたが、恥をかく外に何も書けない老人甚だ當惑しました、それに不慣の事をやつたのでなかなか跡始末が容易でなく、少なくとも對外的方面のお小言でもでない様に片付かねば何も感じ不起つて來ないからと御斷りを

しておきました、主催地の者がそれでは困るとのお叱りであつたが、その内に大分用務も片付き配達發送もすみかけましたから、借何かと考へて見ましたが、印象が至つて薄く薩張之れならと思ふものが浮びません。殊に製品について技工上や何かの事は専門大家の御批評があ

山 内 末 吉

る筈だし、秋保氏も何か書かれるはずで、彼これ私の領分は至つて狭くなりました。狭くて結構ですが何もないので辛い、眞に汗額の至りに耐へません。而し又如斯會が行はれるとしますれば、自分達の豫備行爲が悪かつた爲めに種々の魔胡つきをやつた則ちその魔胡つき振りを皆様に御披露しておけば他山の石位に何かの時のお役に立つ事かと思ひつきましたから思ひ出すまゝを申し上げますお断りしておきますが、批評でも苦情でもないので只私共が大軍に魔胡ついた状況を映寫するのであります。何事をするのにも準備は大切である、言葉は簡單であるが而し之を行ふのはなかなか簡單でない、此準備の一事が誠に容易でない事を今回痛感しました。便宜上斯すれば良かりしと下司の後智恵で考へた點を擧げてそして理由らしきものを述べて見たいと思ひます。

一、開會通知と出品の有無並に點數と 容積の豫報

之れは會場設備の計畫上最初に起る必要なる條件であ

知るどころか、疎に見ることも出来ず見ても之を統一せしむべく整理はつかない。と申すのは原簿様式にも若干の相違はあるが、之れは大體訓令により一定せられてゐるから大したことはないが、形ちは指示されてないからそれがため堅長のもの横長のもの小なるもの大なるもの多種多様で、而して、其數三百五十四枚ざつと、十三種類で、宛然原簿品評會の觀を呈しました。又之作業原簿寫の記入方が區々で恰も人の面の異ると等しく似而非のもの多く、一例を擧ぐれば、人工欄に單に何月分何人何分とか、又ノ欄に數量を記入したものとヤ種々である。そして何月分何人とあるも何時間就業せしものなり其基礎は薩張判らず、従て工手間の適否は之を知ることを得ざる如き又賣却價額欄にも僅少の利益を加へたるのみで、殆ど原價と認むべき程度のもを記入してある、のちあれば、原價が非常に不廉でそれに尙利益を加へて賣却價額を出したものとかで當方に於ける賣價の案出に困つたものも不尠あつた。

る。今回は開會通知は相當の期間を置いてしたが、開會間際迄何處から何か何點來るものや薩張判らないから最初の通知による約四尺立方三、四点位のものがさつと六十個所と予定して會場の準備に着手した。それは開會日より四十日程前である。會場の面積と陳列品の點數との均衡は只に品物の整理に必要なばかりでなく、陳列品その物の見榮にも非常に密接なる連鎖を有し、又出品物相當の裝飾とが製品の部門別とか種々な方面に深き關係を有するが故に、出品物の予報は計畫上是非とも受くる事を要するものもありました。之予報は必ず實行して貰はねばなりませんことを痛感しました。

二、豫報に基き品物用カードを送る事

之れは何の爲めかと申せば今回やりました作業原簿に代ゆるのであります。今回は審査基礎を作るため原簿寫を送られることにしたのでしたが、甚だ厄介を掛けたいです。原簿により其の生産の内容を知り經理の巧拙なぞも見らるゝ譯であつたかと思はれるのですが、内容を

由來如斯會の出品物は可成的出品刑務所の賣價を尊重し、其儘陳列し之に基き賣却するのが妥當であると認めました之が見當がつきませんから困りました。最も甚しいのだけは二三照會して漸く定めました、斯る事より生ずる魔胡つきを防止するには一定のカードを出品予報により相當の數量だけ送付しておき、之に必要事項を記入して品物と共に送つて貰へば統一も出來手數も省ける、今回も原簿の利用が駄目と斷念しましたので、利用の一助として左の如き審査表を作つてやりましたが、頗る便利でまごつきを助けました。お断りしておきますが之以上の方法がないと申上る譯でなく只経路だけを御披露するのです。

原簿抄本

刑務所名

品目

數量

販賣價額 材料代 賃金 益金に三分す

審査等級

陳列番號

審査員意

見摘録

大さは適當で裏面には製作所要延時間と科程とを記入して使用しました。出品物と共に之のカードが參れば別に帳簿など設くる必要もなく之のみで整理も出来ると思ひました。

三、出品物の運送方法を豫め協議し置くこと

之れは又何でもない様な事だが大に否らざるものがある。今回も之打合せをしなかつたが爲に魔胡つきは大きくなつた。と申上ぐるのは當地は格別かも知れませんが當刑務所附近に貨物驛が三つある、即ち池袋、大塚、元からある巢鴨である、此の三驛中池袋が貨物には尤も便利で一番不便なのが巢鴨である。然るに打合せがなかつたので最も不便な巢鴨に着荷するのが可成あつた。又取扱運送人の指定なかりし爲に各に各驛共附近の大小運送店

が思ひ思ひに貨物を分捕、勝手配達をやるのもあり又譯留のものもあつて惱まされた事一通でなかつた、加ふるに運賃が元拂のものは譯はないが先拂のものと配達料だけが先拂のものと種々に扱はれた爲配達する直に現金交付を迫るものもあつて、魔胡つきは一層甚しく、混雑は益々擴大されて行くのであつた。之れは驛と取扱運送店を豫め通知して運賃も全部先拂とか何とか一定しておけば何でもなく防止ができたのであると思ひました。

四、着荷の時機と發送目録

出品物は今回の如く開會前日なぞにつくのも過ぎて困るが去りとして出来たからとて五十餘日も前に送らるゝのも困る、之等も開催地の刑務所に於て大體着荷目の頃合を計り出品所へ予め通知し着後長い間保管することのない様にするのがよいと感じた。普通の製品なら兎も角だが、専門大家の嚴重なる審査の組上におかれ而して普く各方面の名士にも鑑賞を乞ふべく送られた品だから可及的製作當時の俵を其まゝ保有せしめたい、それが保管

開 會 所 目 録

の時機が長ければ長いだけ品物に手を觸れる機会も自然多く與へられ、従つて主管者が思ひもかけぬ汚損等の生ずる惧れがある。

今回の如く最早最遅の間に約六十日間もあつて其間だからと着荷する品物の検査と保管には全く閉口しました。之れは開會前十四五日位の間は相前後して一齊に着荷せしめ、此の方面の係は之れを専門に整理して行けば頭がなれて扱上の統一もでき易いのである。

次は發送目録であるが、一所出品一捆のものは兎も角二捆以上あつて之れが揃つて來ない場合は別の通知票に照



刑務所製作品評會場(四)

部滞りなく着いたか否か判らぬ、愈々全部と認め得るに至りて不都合のものがなか／＼ある。此の場合更に照會はするが梱荷破損のため途中紛失か、それとも荷造のとき取落したのか、或は小さき品に解捆の際他へ紛れたか、薩張判らず、前着解捆の他品迄も時に引繰返して搜索するから混雑はだん／＼甚しくなる一方である。朝鮮よりの出品は總督府の注意で予報もあり又荷物の中に發送目録が收められていたので非常に便宜を得たことを此の機に於て感謝し

ておきます。今後は梱荷の際此目録を作り必ず荷の中へ

容れおく様にせられたいと深く感じた次第であります。

五、出品物は可成的販賣し得らるゝものたること

新様に申せば莫迦言ふな参考品だつてよいと御叱りがあると思ひますが、参考品ならそれらしきものでないと思ひたくない、何等特種品とも思はれざる品で一般販賣品と伍し肩を比べて飾らるゝものたる以上入場者は皆買へるものと早合点するのは無理もなく、非賣品とか注文物品とかの文字は縁に讀んでくれないことを今回知ることを得た。従て種々なる邪推を起させ易い、而も比較的廉價のものに至り特にその然るを覺えた。此邪推については多少予想もついたので、入場券使用を二つに別け、白札即ち外來者の方は初日から全開期を通じ使用のできる様にし、内部のもの即ち青札は二日目よりとして、邪推防止の方法を講じましたが初日に大部分賣約ができたのであるから二日乃至三日目などに來る人は買ふものがないから注文物品とか非賣品とかが特に目立ち之が問題とな

り種々の質問もあり、辯明もしましたが、容易に聽容れない、其内には又係員も混雜の際とついでに間違つて賣約して後で陳謝し、頭を掻いて御詫しても容易に済されず、つい賣却しなければならぬ物目に陥り、出品された刑務所へ御迷惑をかける事も出來ました。

摺筆に臨み一言附け加へますが、審査の結果が如何であらうと物にもよるが實用向の物は何と申しても廉い物が第一に賣れます。高い物程後廻しになる、圖案のよき物は購買心を唆る事は疑なきも懐中物との相談もあるから優良品が賣れ残りたり審査のとき一蹴されて顧みられざりし物が初日に賣約されたりした珍現象も少くありません。而し此方面へ筆が向ふと前に封じられた鉢合せも自然出來易いからやめます。例外もありますが廉くて堅牢なる實用品が刑務作業として特に大量の生産をなす場合に於て最も適當であると深く其感じを残しました。夫は今回の賣行狀況が別の所に掲げられてある筈だから其方を御覽下さればお判りになると存じますから省きます。

終りに臨み此會のために種々と御援助下さいました各位へ厚く御禮を申上ると共に、始めての試みであつたの

で何かと不行届のみ多かりし事を諺で御詫しておきます。

刑務作業に關する雜感

近 藤 亮 雅

私は先ごろ巢鴨で催された品評會は不幸にして參觀するものが出來なかつた。しかしその後審査員諸氏の講評や參觀者の報告によつて大様を推察することは出來た。だからその模様を標準として、予ねて私が抱いてゐた刑務所作業に對する極く素人的な意見をこの機會に述べて先輩諸氏の御示教を仰ぎたいと思ふ。

一たい刑務所の工場と一般工場の差異は何處にあるかと云ふに、前者は何處までも行刑の一部であつて、勞役

場であり授産場であるに反して、後者はそのいづれでもなく、たゞ生産場なのである。だから刑務作業はたゞ單に作業能率を擧げさへすればよいと云ふのではない勞働生活を習慣づけ、將來釋放の後生計の資となるべき技能を授けることが伴はねばならぬし、勞役の強制と云ふ意味が含まれて來ねばならぬのに反し、一般の工場では、なるべくコンデイションをよくして少しでも生産能率を上げるやうに努めるのである。この點から考へて刑務作業の隆盛發展は、ある程度を置いての話である。否そればかりではない、若し刑務作業が發展し過ぎる時は民

業壓迫と云ふ非難が控へてゐて、上へ伸びやうとする芽を止めてしまはねばならぬのである。

熟練職工を粒選りにして適材適所の妙用を爲すことは刑務作業では不可能のことである。第一業種の選定からして不完全なもので監獄法第二十四條の受刑者の刑期、健康、技能、職業、將來の生計等を斟酌されずに課せられる場合もかなり多いやうに聞いてゐる。又職工たるべき受刑者がいづれも質に於て優れたるものは先づないとしなければならぬのだから、根本からコンデイションが悪い。いくら通風や光線や栄養やを注意しても又労働時間を延長しても、能率は低いものである。授産場や勞役場を營利的に見て収益を得やうとするのがそもその誤りで、云ふ方が無理である。

刑務所の自給自足と云ふことがよく唱へられた、ある所などは非常に成績がよくて、差引剩餘あるやうなところもあつたらしい。然し之れは國家財政の上でめばしい

の大發展を來すか知れない。年度末に大藏省へ納入することにして一年間融通することが出來さへすれば、これは別に國家の財政を危険に導くものではないのだから刑務作業の發展を期する以上この點は是非考慮しなければならぬのではなからうか。

刑務所の製品と云へば、せいゝ、學校の机や椅子位が適當してゐる、さもなければ洗濯盥でも注文して見やうかと云ふ位しか世間では感じてはゐない。この頃では靴が安いと云ふので、子供の靴を無暗に注文する人があゝる、大人で「君どうだこの靴はいゝだらう、それに安いんだ」とでも云はふものなら「Made in Prison かい」とやられる。つまり刑務所で造れば安い、少くは無格好でも辛棒すれば常用のものには經濟的に用ひられる。が高級品となり、よそゆきのものには刑務所製品などは用ひられない。こんな風に相場が極まつてゐるやうである。時代人の趣味性流行型、感じと云つたやうなどは望む

ことであるだけで、營利會社と見るならば自給自足では營利會社の目的を達したとは云へない。

刑務所の作業は實際に於て收入と云ふものが一つもない。賣上金又は契約による収益のすべては皆國庫へ支拂はれてしまふ。いくら利益を多く得ても、その刑務所の金庫に入る譯ではなく、所謂うまい汁は皆外で吸ひ取つてしまふ。素品提供のものならいざしらず、然らざるものは刑務所は仕事をして却て損をしてゐる勘定である。すなはち入る金は外へ行つてしまつて出る丈は出るのだから。

例へば予算が十萬圓あるとするそれで素品も購入しなければならず、生産費も出さねばならず、設備もしなければならず、機械も買はねばならずとなれば、運轉資金と云ふものに窮々としなければならぬ、すなはち十萬圓は十萬圓にだけしか使へない、これが若し特別會計にでもして作業部收入が全て刑務所へ入るとすれば更に數倍の資金の流用をなすことが出來てどんなにか、刑務作業

べくもない、丈夫で眞面目に手を抜いてないかしらぬが、ん、こつで無格好で、感じの悪い、へまな技巧を施した骨董品でもなければ新流行品でもないものが「刑務所型」と稱せられるタイプなのである。このことはひとり門外漢の忌弾なき批評であるばかりでなく、作業部の人々もよく口を聞いてゐると見え「およしなさい」と云はぬばかりの口吻を聞くことがある。

注文者が自分の考案を語り、こゝはこんな風にしてと希望まで云つて見ても、出來上るまでは「どんなものを作られるかわからない、變なものを作られたら困るが」と出來たものを見るまでは安心がならないのが、刑務所へ注文したときの状態である。近くであつて自分が仕事の最中に行つて見る事の出來る場合は兎も角もうつかりしてゐて、注文とは似てもつかぬものを作られたり、出來上りがとても用ひる氣になれません、さであつたりすると全くうんざりする。洋服や家具やを注文した人でひどい目にあつた人が随分にある。だから少々出來上りがど

うあらうとも構はぬものより注文しないやうになる。

刑務所作品の向上發展を望むとは吾々も敢て人後には落ちないしかし現在のやうな状態では余程の努力をしないと世間の品物に追いつけない。この間の品評會には可成優良なものも集まつてゐたそうだが、あれを以て刑務所作品の見本と見ることは出来ない。あれはまあとつて、おきの最上品を逸つて来たので、あの通りのものがないでも出来る譯ではないと思はねばならぬ。

私の素人考へを申せば、まづ第一に材料の買入に付いては、たゞ安いものがあつたからと云つて買込んで買ひ込むこと、次にはその材料の使ひ方である。刑務所で注文してとても高い時がある。あれなどは相場を構はずに買込をしてその上に材料を無雑作に使ふから、とてつもない高價になる、手を抜かないやうにと云つても藝術品でない限り、人工を構はぬ譯には行かない。(工賃も安

すなはち同じく印刷にしても植字の非常にうまいものと、機械の方の得意なものと、ステロなどの巧妙なものとならう。これを各個性に應じてその長所を發揮せしむるやうにすると共に、又印刷業全体についての訓練も施さねばならぬ、たゞ始めは解版次に文選、次に植字、すりで云へば始めは名刺すりから次にピラもの、それから菊版四六版とそんな風に進むばかりではなく、その間に本人の技能を觀取して指導教育を與へることを技師及技手の諸君に望みたい。現在では殆んど形式的なものに止つてゐるらしいから。

次に考へて見たいことは刑務作業の統一と云ふことである。これは當局に於ても調査中であるやうであるが、例へば高知、静岡の如き製紙一本でやつて行く所、又京都の如く西陣織専門のところ、網走の如く製材専門のところ、三重の如く皮製品専門のところ、と云つた風に、大印刷工場、大機械工場、大裁縫工場、大紡績工場、と

く利益も余計にとらないから安い筈の刑務所作品が此頃では却て市價より高いことが往々ある)それに圖案設計

は時代的に、現代人の生活趣味性に適合するやう、それでゐて購買慾をそゝるやうなものでなければならぬ、同じ塵取でもあり來りの型でなく、そこに工夫を凝らしたものであるならば、それは購買慾をそゝることにはないか、まして生活改善に資すべきやうのものを工夫すれば特許にもならうし、(行刑局の試みてゐる收容者の發明研究心の獎勵の趣旨にも契ふ)又現代人の感情趣向に應じたものであるならば、ある上にでもそれを購求することにならう。要するに今の刑務所作品にはこの工夫と云つたやうなことが少しも用ひられてゐない。それには作業技師又は作業技手と云ふ收容者の指導者をして常に研究工夫せしめ、之が爲には見學調査の時間を與へる必要もあらうし、場合によつては見本品を購入して受刑者の作業模型とすることもよからうと思ふ。次に作業訓練がもつと組織的に又教育的にならねばならぬこと、

業種を統一して大量生産的に能率を擧げること 作業發展の一方法ではなからうか。それに現在の如く刑務所が生産もやれば販賣もやると云ふやうな面倒なことをせず、製紙ならば製紙一方をやり、一商事會社と契約して出来るならば同一性質の紙のみを抄くと云ふ風にすれば職工の技能訓練にも容易であり且つ能率は非常に増進し又販賣に苦勞せずにとん／＼契約高の製産をなすことが出来るではないか、一刑務所に殆んどデパートメントストア見たいに何でも販賣する上にその生産までもやるのでは骨折損のくたびれ儲けで合はない結果に陥るのではなからうか。こんな風に大規模に單一的となして生産すると共に、出来るならば刑務所の間で(殆ど全國的に位置を占めて居るのであるから)材料を供する専門工場と、その材料によつて生産する工場と云ふ風に分けても面白いと思ふ。刑務所が商買敵のやうにどこもこゝも割據して同じやうな商買をしてゐるのをかしたものと云ふ風に見える。

刑務所作業の隆盛を計る爲には、第一に面倒な手續を廢めなければならぬ、お役所の仕事は何處でも面倒臭い事をお互に、小言を云ひながらも、やつてゐる。これを改めなければならぬ。大口の契約ならば、定規の手續もよからうが、個人的な注文に面倒な事があるとたのむ事が億劫になる、洋服に例をとつて見ると、自分で材料を蒐めて、それを刑務所へ届けて、寸法なども我々のやうな關係あるものならば、行つた序に技手の人にとつて貰へるが、一般の人が行けば、遠いところを行つていくつも門をくぐつて、姓名を帳面につけられたりなんかしてやつと作業係へ行き注文をたのむ、契約書なんかを書いたり判を捺したりしてやつとたのみ込む始末、之れと世間の洋服屋とを比較して見れば主客顛倒の差違があるそしていつ出来るやら見當がつかず、假縫が出来たとてわざ／＼出かけなければならず、それからやつと出来上つても届けて貰へば運賃をとられるし、出すまいと思へ

来た。これではお客さまはつかない。たとひ刑務所の方からお客様扱ひにして如何でせうと注文とりに行つてもお客の方で逃げ出すであらう。

これについてはせめて世間の風に眞做るやうに、外務員と云つたやうなものを釋放者のうちからとり、彼等に刑務所とお客との間を連絡せしめるやうにすれば技手がこの／＼忙しい中を出かけなくても済む譯であるし、釋放者保護にもなるから刑務所としては一舉兩得の意義あることをしてゐる事になるではないか。

受刑前の職業と受刑中の業種と釋放後の職業との關係については、一概に論じ去つたり批評したりは出来ないやうである。刑期の長短とか本人の健康とか心理状態、技能と云つたことを斟酌して定めもし論じもしなければならぬ。

理想的に云はゞ受刑前の職業が何であらうとも、收容と同時に本人の状態を考慮し、又社會の状態をも斟酌し

は取りに行かねばならず、その上代金は「何月何日迄に納入すべし」と来るから、わざ／＼銀行（それも持たされる感じの悪い）まで出かけて支拂ねばならぬ、いやはやその面倒さと云つたらお話にならぬ、その上に出来上りに間違でもあらうものなら、不都合な點は責を負はず断りもせず、その上修繕費として更に工賃を徴集せられる。理屈も何もあつたものでない。そしてその期間と云べば、早くて二ヶ月、普通が多物ならば夏の間に、夏物ならば冬の間にたのんで置くべしとのことになつてゐる。

私の経験では秋九月の終に冬のインペネスをたのんでからもうそろ／＼暖くなる時分に出来上つて来た、出来上つて見ると寸法がまるで違つてゐて着られない、それで折角出来たものを又修繕にやつた、來年の冬に着るつもりで、ところが案の状矢のやうに催促してやつと冬に間にあつたが、黙つてゐれば又いつまで、工場隅に放り込まれてゐたのかもしれない、しかし請求は頗る迅速で追ひかけて例の修繕費として「納入すべし」と命令して

適當な職業の選擇をしてやらねばならぬ。これが現在ではさうなくてはならぬと承知してゐながら、實際は行はれてゐない點であるが、これは行刑中最も重大なことで、本人に確かな技能を授けて置くことがどんなに防犯の要點であるか知れないのだから。と云つても短刑期のものは根本的に職業を授けることは出来ないし、年長のものは困難な點もあるから理想的には行かないが、さりとていゝ加減にして置くべきことでは決してない。殊に少年受刑者に對しては最も注意して本人の將來を思ひ、これはどうしても世に立つべき技能を授けねばならぬ。この意味に於て職業選定は科學的に慎重に行はれることを望むものである。

保護會當事者に聞くに、釋放者の大半は刑務所でおぼへた職を釋放後に生かすものはない、多くは日傭人夫位のところである。それではなければ受刑前左官であつたから左官を、大工であつたから大工をと云ふやうに就職する、これは少數である。多くは手に職なき連中が多く、

殆んど労働と云つては自由労働より外に道がない、又これが一番職を得易いから先づ、差當りこの方をやらせるやうな結果になる。こんな姑息的なことは要するに前中の職業の不統一によるものだから、何とか系統的な授職方法を行刑を中心として行はねばならぬと考へる。

前にも一寸述べたが、刑務所の工場は一般のものゝやうに粒選りの職工ばかりを寄せて置くことは出来ない、まづ不熟練職工の集りと見ねばならぬから、これを立派な職工に仕上げることも刑務所工場の一つの仕事である。徒弟養成所とか授産場とか云つた種類のものと見ねばならぬのだから、一体に能率が低いのが當り前である、そこへもつて来て能率増進作業發展と云ふことになつて來たのだから、そも／＼無理な話である。そこで私の考へとしては同一業種の工場内に於ても比較的一人前と認むべきものゝみを集めて、これを主体とする工場組織を

なし、教育中の不熟練職工を之れに按配して能率を平均ならしめて行つたならば、全体に於てその工場の能率は上ることになりはすまいか。しかもさうすれば、労働教育場としての役目も果たすことになるのではなからうか。

ふと思ひ出して「本誌」新年號の冒頭に掲げられてある果二行刑局長の「刑務所作業の官用主義に就て」の論を見ると、肯かゝるゝ點が多い。

刑務所作業を官用主義とすることは世界の趨勢であつて、我國に於ても之を採用するを可とすることを主張せられてゐるが、之を實行するには前文の何處かに述べた工場組織の整頓と、刑務所作業全体の企業組織を行刑局に於て統一して一定の方針の下に材料の供給、業種の選定、工場の單一化と云ふことを大規模に企劃することも必要であらう。又官用主義となりて全國官用品を刑務所作業によつて辨せんとするには、全程の覺悟を以てかゝ

らねば、手達、遅延、支障を起して、折角の大方針を減茶減茶にしてしまふ虞がある。又いくら官用品だからと云つても、決して粗製濫造品で足れりとするものではない、今まで用ひてゐた品を商人より購入せず刑務所より購入しやうとするのだから、同じ程度のものでなければ、用を爲さない、用をなさなければいくら政府の方針であつても、之は實行不可能と云ふことになつて、この案は廢棄しなければならぬ。

いづれにしても今日の如き状態では刑務所作業の發展を期することは出来ないから、もつと設備を整へ、指導者を選ばし、改良に改良を加へて就業者の技能を訓練すると共に大量生産の能力を發揮し得るやう進展しなければならぬことを切實に感ずる。

更に同氏論文の末尾に「然れども此主義を目して作業のみに着眼して刑務所を工場化するものと誤解する勿れ、抑も行刑の本領は單純に應報制裁を科するに在らず、

犯罪人を根本的に改善するに由り、將來の犯罪を豫防し以て社會の安寧を保持するに在り。而して此の立脚地より觀察すれば獨り刑務所に於ける作業收入の増加を計るに吸々として他を顧みざるが如きは其の措置宜しきを得たるものに非ざること明白なり。此主義を採用するに當りても教化及保健の適正を期するは勿論にして、職業訓練勤勉生活馴致により受刑者を改善し其の社會的復活を計るの最適切なる手段として此主義を採用するに外ならず」とあるは頗る同感であつて私が前文に刑務所作業に就て述べた意見もそれを云つたつもりであつたことをつけ加へて置く。

實に刑務作業については、作業賞與金を賃銀制度に替ふるの可否とか、工場設備、就業者の榮養等保健に關する問題、作業進展に伴ふ職制と云つたやうな問題もあるが、それは又他日に譲るとする。

天長の佳節をトし 永年勤績並皆勤者の表彰

天長の佳節をトし永年勤績並皆勤者の表彰

吾々が日々の生活を営んで行く時には、豫想されない種々の出来事に遭遇するものである。單に自分自身の上に於てのみならず、その身邊に起り来る故障、それは少ないやうでも可なりあるのが常である。だから人生の行路は、勿論人によつて差等はあるが、比較的平穩無事だと思はれるものでさへ、その跡を辿つて見ると、そこに波瀾の跡を認めずにはゐられない。

早い話が、子供が學校へ通ふにしても、義務年限六年を一日の缺席もなく、皆勤すると云ふことはまづ困難である、子供のことから彼自身の健康さへ冒されることとがなければ、精勵通學するであらうが、それでも風雨雪霜の中に、往復通學するのは可なり努力が要するもの

大ていの辛棒ではないに違ひない。

しかしこれは世間一般についての話で、吾が刑務官諸君の上にこれを及ぼして見た時には、更に一段の趣が加へられる。

われらが携はる刑務事業と云ふものはどんなものか、それは人間の改造事業である。人類生活上これほど貴い仕事はない、これほど意義のある仕事はない。しかしこれを内面から眺めて見ると、事業が尊く意義あるものだけに、いかにも難事業である、一通りや二通りの苦勞ではない、役所勤めは役所勤めでも、「書類」を取扱ふものとは違ひ、「人」を取扱ふものであるから、従て繁雜な用務があり、その「人」も特殊な「人」なのだからその間には、云ふに云はれぬ苦勞がある。それでゐて、その仕事は、はでな面白いものではなく名利を離れた奉仕的な仕事なのである。世間滔々として名を求め利に走る時勢に、質素な生活に甘んじ、苦勞多き勤務に身を賭して、長年月を致々として勤務することのいかに稱揚すべきで

である。

まして一家を持ち、單身自由の身にあらざるものが、長い年月の間、同一系統の職務に勤績すると云ふことは、余程の忍耐と確固たる信念がなければ出来ることではない。いくら健康な人でも、感胃にかゝることもあらう、腹痛を訴へることもあらう、或は傷きて悩むこともあらう、否かゝる自身の故障ばかりでなく、家族及身邊に種々の出来事が生じて、勤めを休まねばならぬ場合にも遭遇するものである。殊に吾々は人間の悲しさに、懈け心も起る、「今日ばかりは……」と思ふ日も随分ある。又「もつと外に仕事を見付けて」と思ふ時もある。それを切り抜けて終始一貫一つの仕事に忠實に恪勤することは並

あるかは、今更論を俟たないのである。

是に於てか本會は本會々員にして、二十五年勤績の看守部長以下の刑務事業従事者諸君、及十五年以上皆勤の看守長以下の刑務官諸君に對してその功勞表彰の意を表すべく、不足勝な財政の中から數千圓を投じて之に充てた次第である。

すなはち去十月三十一日天長の佳節をトして二十五年以上勤績したる看守部長、看守、女監取締、作業助手、雇、火夫、使丁百三十一名に對して表彰狀に置時計を添へて贈呈し、又十五年以上皆勤の看守長、看守部長、看守百〇三名に對しては賞狀に銀盃を添へて贈呈した。

二十五年と云へば人生の半過程である、それを同じ道に勵んで来た人々の忍耐さと堅實さを思ひ、その信念の強さを仰いで吾人は讃歎のことばを捧げずにはゐられない。又小學校を通じて、或は中等校を通じて皆勤することさへも容易ではないのに、奉職して十五年、自己及家庭の出来事の中から十五年約五千三百日間、雨の日も風

天長の佳節をトし永年勤績並皆勤者の表彰

の日も、文字通りに星を戴いて出で、星を戴いて歸る休なき勤績には畏敬すべき何物かを認めずにはゐられな

二十五年以上勤績者

- 小菅 松岡 彌一
市谷 太田 菊次郎
豊多摩 吉野 七之助
横濱 池田 儀平

- 名古屋 一色 魁太郎
岐阜 瀧 峰一
金澤 中村 鐵五郎
山口 竹田 喜一
松江 内田 岩太郎
三池 藤吉 金藏
熊本 九谷 己角
鹿兒島 貴島 岩熊
宮崎 長友 貞藏
神戶 眞榮 田喜徳
宮城 菅原 龜吉
福島 森 彦太郎
山形 岡本 守貴
秋田 山野 内友之助
青森 猪内 文彌
札幌 高杉 林次郎
網走 山口 壽一

- 水戸 小笠原 長貞
宇都宮 橋本 寅藏
前橋 栗原 千吉
長野 柳原 祐太郎
新潟 關根 龜藏
大坂 栗原 徳次郎
神戸 石田 常造
奈良 中村 清次郎
滋賀 富増 利助
徳島 天羽 直太郎
高松 笠井 幹太
高知 佐藤 米藏
眞島 清海

- 丸田 俊夫
村上 守順
遠畑 六郎
堀合 由藏
大和 西人
松浦 英太郎
林 文芳
關原 長季
以上 小計壹百三十一名

表彰状

刑務ニ従事スルコト二十五年ヲ超ヘ其間恪勤精勵シ功勞尠ナカラス仍テ紀念品ヲ贈呈シ之ヲ表彰ス
大正十四年十月三十一日
刑務協會總裁正四位勳一等 江木 翼

十五年以上皆勤者

- 小菅 看守 長峯 岸 邊
市谷 看守部長 柴内 春治
同 上古谷 精治

(○印は廿五年勤績表彰を受けられたる此の人員十一人)

統計

大正十四年九月中入出所並月末在所人員

(△減)

備考	總計		乳兒		勞役場留置者		刑事被告人		受刑者	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
內朝鮮人受刑者男 五四七人、 刑事被告人男 三六人、 支那人受刑者男 九二人、 女 一人、 刑事被告人男 八人、 英吉利人受刑者男 一人、 北米合衆國人受刑者男 一人、 露西亞人受刑者男 二人、 希臘人受刑者男 一人あり、	四一六〇	九二五	四〇七九	九五	七二七	六八七五	四一〇八一	四〇七三九	三六六八	三六六八
	七、五〇四	七一九	四二〇五	四一六〇	九二五	九六七	三六六八	三六六八	三六六八	三六六八
越員入所出所現員	三、六七七	三、六七七	三、六七七	三、六七七	三、六七七	三、六七七	三、六七七	三、六七七	三、六七七	三、六七七
前月末在	三、六七七	三、六七七	三、六七七	三、六七七	三、六七七	三、六七七	三、六七七	三、六七七	三、六七七	三、六七七
前日現在	三、六七七	三、六七七	三、六七七	三、六七七	三、六七七	三、六七七	三、六七七	三、六七七	三、六七七	三、六七七
前年同月	三、六七七	三、六七七	三、六七七	三、六七七	三、六七七	三、六七七	三、六七七	三、六七七	三、六七七	三、六七七
前月比較	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
前年比較	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△

行刑統計

刑務所別	受刑者		刑事被告人		勞役場留置者		乳兒		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
小菅	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九
市谷	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九
豐多	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九
集多	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九
橫濱	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九
千葉	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九
水戸	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九
宇都宮	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九
前橋	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九
靜岡	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九
甲府	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九
長野	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九
新野	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九
京都	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九
大阪	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九
神戶	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九
奈良	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九
滋賀	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九
德島	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九
高松	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九
高知	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九

大正十四年九月末在所人員表

ヲ開キ各區ノ優勝者ヲ招集シ競技ヲナシメ大會ヨリ優勝旗ヲ授與ス

大會開催地支部ヘハ貳百圓内外ノ補助金ヲ交付ス

六、全國刑務所ヲ左ノ五區ニ区分ス

第一區

宮城、福島、山形、秋田、青森、札幌、函館、網走、釧路、盛岡少年、札幌少年、

第二區、

小菅、市谷、豊多摩、巢鴨、横濱、千葉、水戸、宇都宮、前橋、甲府、小田原少年、川越少年、

第三區、

名古屋、三重、岐阜、金澤、静岡、長野、新潟、滋賀、岡崎少年、

第四區、

大阪、京都、神戸、奈良、徳島、高松、高知、廣島、岡山、松江、松山、姫路少年、

第五區、

長崎、三池、福岡、大分、熊本、鹿兒島、宮崎、山口、沖縄、岩國少年、久留米少年、

行刑局長通牒 (大正十四年十一月二日)

刑務所長 少年刑務所長宛

活動寫眞映寫用幕調製ノ件通牒

活動寫眞映寫用幕ハ從來映寫技術者ニ於テ携行致候得共破損又ハ汚染シ易キノミナラス携帶旅行ノ不便等ノ事情ニ因リ爾今之ヲ携

ノ義ニ有之候モ購入物品一廉貳百圓未滿ノモノニ限リ標記帳簿ノ登記ヲ省略支無之候

司法省行刑局長通牒 (大正十四年十一月六日)

刑務所長 少年刑務所長宛

受刑者ニ携帯ヲ許可セル念珠ハ品質一定ノ件通牒

受刑者ニ念珠ヲ携帯ヲ許可セル場合其品質一定セサルカタメ往々華美又ハ贅澤ニ亘ルカ如キモノヲ携帶シ之ヲ以テ誇顯トナスモノ有之哉ニ及聞候處斯ノ如キハ徒ニ他ノ受刑者ノ虛榮心ヲ唆リ遂ニハ教化ト憂フヘキ幣風ヲ助長シ將來容易ニ矯正難キ惡習ヲ胎スコトト可相成候條向後ハ品質ヲ一定ノ上決シテ華美又ハ贅澤ニ亘ルカ如キモノノ携帯ヲ許可相成ラサル様御留意相成度候

司法省行刑局長通牒 (大正十四年十一月六日)

刑務所長 少年刑務所長宛

活動寫眞映寫用幕著書器使用狀況報告廢止ノ件通牒

活動寫眞映寫用幕著書器使用後ノ狀況報告相成居候處映寫中又ハ著書器使用中特殊ノ異狀無之限リ爾今報告ニ及ハサルコトニ致候條御了知相成度候

司法省行刑局長通牒 (大正十四年十一月六日)

刑務所長 少年刑務所長宛

帶セシメサルコト、致候處貴所ニ於テ御製備付置相成候様致度候

追テ右幕ハ縱横共ニ二間宛ヲ要スルモ支所ノ如キ比較的小映寫場ニ於テハ幾分之ヨリ縮少スルモ差支無之趣ニ付爲參考附記致候

司法省行刑局長通牒 (大正十四年十一月五日)

刑務所長 少年刑務所長宛

衛生材料使用數量ノ定期報告廢止ノ件依命通牒

衛生材料ノ使用數量ハ司法省訓令第二號ニ依リ定期ニ報告スヘキコトニ相成居候處衛生材料ノ配給ニ付テハ今般本會指導ノ下ニ刑務協會ヲシテ之ニ當ラシムルコトニナリタルヲ以テ當分ノ間標記報告ハ提出ニ不及候條石ニ御了知相成度

司法省行刑局長通牒 (大正十四年十一月六日)

刑務所長 少年刑務所長宛

受刑者死休解剖報告廢止ノ件通牒

從來受刑者ノ死休ヲ解剖セル場合ハ明治四十二年十月陸甲第一、三二二號通牒ニ依リ報告スヘキコトニ相成居候處事務簡捷ヲ期スル爲爾今毎年ノ定期報告ハ其儀ニ及ハサル次第ト御了知相成度

司法省行刑局長通牒 (大正十四年十一月六日)

刑務所長 少年刑務所長宛

購入物品検査簿ノ件

購入物品ノ檢收ハ其代金額ノ多寡ニ拘ハラズ精密檢査スルハ勿論

通牒

適當ト認メタルフィルム並レコード音符ノ種類報告ノ件

教化用活動寫眞フィルム並著書器レコードハ當局ニ於テモ鏡其種類選定ニ付配意致居候得共尙其種類狹キニ失スル等ノ塵有之ヤニ及聞候ニ付テハ貴官ニ於テモ適當ト認メラレタル映画有之候ハ、其筋骨並著書器ニ付テハ其音符ノ種類等御報告相成度候

司法省行刑局長通牒 大正十四年十一月十日

刑務所長 少年刑務所長宛

作業經營ニ關スル件通牒

通般開催ノ各地控訴院管内協議會ニ於ケル意向モ有之作業經營ノ圓滑ヲ圖リ其ノ進展ヲ期スル爲左記ノ通御取計相成度候

記

一、作業受負者中工賃値下ヲ煽動シ又ハ不當ノ要求ヲ爲ス等不都合ノ行爲ニヨリ解約シタル場合ハ理由ヲ具シテ各刑務所間ニ互報シ本人ニ對シテハ執レモ契約ヲ差控ヘ現ニ契約中ノモノハ就業者ノ増員ヲ爲ササルコト、

一、刑務所需用品中一刑務所ニ於テ製作可能ニシテ運搬ニ不便ナラサルモノハ便宜他刑務所分ヲモ引受可成其ノ需用ニ應スルコト、

一、大量ノ委託又ハ受負作業ノ申込アルモノ之ヲ引受難キ事情等

有之場合ハ適宜他刑務所ヘ通知仲介ノ途ヲ講スルコト

一、地方特産品其ノ他官製トシテ經營シ有望ト認メラルル作

業アルモ之ヲ實施シ能ハサル事情アルモノニ付テハ適宜他刑務所ヘ仲介ノ途ノ講スルコト

一、各自控訴院管内若ハ最寄刑務所間ニ於テハ左記ノ通取扱フコト
イ、久留米耕受負工賃ハ相互協定ノ上決定スルコト
ロ、受負工賃減額ノ要求アリタル場合ハ其理由歩合並之ニ對スル意見ヲ互報スルコト

ハ、受負作業ニ付テハ其ノ業名科程賃金受負者ノ住所氏名等ヲ互報シ且同一業種ニ付テハ可成其ノ科程賃金ヲ統一スルコト
ニ、受負業ノ盛衰受負者ノ意籌等々通報シ互ニ參考ニ資スルコト
ホ、作業素品及高價ナル器具等特種購入品ハ其ノ價格ヲ互報スルコト

一、刑務所製作品及農産物ニシテ販賣ノ餘力アルモノハ互報スルコト
司法省行刑局長通牒 (大正十四年十一月十日)

刑務所長 少年刑務所長宛
移送済報告廢止ノ件

收容者移送済ノ場合護送吏員數ト共ニ報告相成居候處右ハ爾今報告ニ不及候

司法省行刑局長通牒 (大正十四年十一月十一日)

刑務所長 少年刑務所長宛
醫務補助簿ニ關スル件依命通牒

大正十一年六月行甲第九四四號ヲ以テ標記補助簿廢設ニ際シ其程度認可ヲ受クヘキ旨通牒相成候ハ從來補助簿ノ總樣名稱等各所區々ニ涉リ其種類數百ヲ算シ實ニ煩瑣ノ極ニ達シタルニ依リ醫務改善ヲ期スルノ目的ニ有之候然ルニ其後ノ經過ヲ觀察スルニ其趣旨モ徹底セル様被認候ニ就テハ自今一々認可ノ申請ヲ要セス左記ノ範圍内ニテ貴官限リ處理相成差支無之備ト仰リ知相成度候

- 一、醫務日誌、醫務ニ關スル備忘等
- 二、請 診 簿、受診手續並其結果ニ關スル事項等
- 三、處遇變更簿、收容者ノ處遇變更ニ關スル一切ノ事項等
- 四、調査資料原簿、諸調査ノ資料タルヘキ一切ノ事項等

司法省行刑局長通牒 大正十四年十一月十七日

刑務所長 少年刑務所長宛
刑務所ニ於テ新聞類似ノ印刷物發行ノ傾向アルニ關シ通牒

近時行刑思潮ノ進轉ニ伴ヒ大正十一年九月監獄法第三十一條ヲ擴張解釋シ刑務協會ヲシテ雜誌「人」ヲ發行セシメ其看讀範圍ヲ廣汎ナラシメタル所以ハ當時一部ノ刑務所ニ於テハ之ニ類スル印刷物ヲ發行シ他ノ刑務所ニ於テハ經費其他ノ關係ニヨリ之カ發行ヲ爲サヘルノ狀況ニ有之斯テハ行刑統一ヲ破リ受刑者間ニ不平ヲ惹起スルノ虞アルコト慮リ事ヲ行刑統一ノ見地ヨリ斯ク擴張解釋ヲ爲シタルモノニ他ナラス而シテ其成績愈々見ルヘキモノアルニ際

刑務所長 少年刑務所長宛
刑務報ニ關スル件
刑務報發行ノ場合ハ一部當局ヘ送付ノコトニ相成居候處爾今送付ニ不及候

司法省行刑局長通牒 (大正十四年十一月十一日)
刑務所長 少年刑務所長宛
刑務所職員現給調提出ノ件
調査上必要有之候條毎年度七、十一、三ノ各月一日現在ニ付標記調書別紙様式ニ依リ作成該月十日マテニ御提出相成度候
追テ大正三年八月監甲第五四四號調書ハ提出ニ及ハス候
(別紙様式は紙面都合により掲載略す)

司法省行刑局長通牒 (大正十四年十一月十二日)
刑務所長 少年刑務所長宛
絆創膏使用ノ場合認可ヲ要セサル件依命通牒

絆創膏ハ其ノ使用ノ簡便ニシテ醫藥上ノ效果モ相當認メラレ居リシモ比較的高價ナリシヲ以テ使用上考慮セラレ居候處今般刑務協會ニ於テ衛生材料ヲ供給スルニ至リ絆創膏モ低廉ニテ使用シ得ラルルノミナラズ之カ使用ニ依リ松脂硬膏使用上ノ不便(例ヘバ硬膏ノ紙ニ伸ブル等ニ要スル相當ノ熟練ト手數)ヲモ避ケ得ラルベク候ニ付テハ向後絆創膏ヲ使用セラルル場合ハ豫メ認可ヲ要スルコトナク當分ノ間貴所限リ施用シ差支無之候

司法省行刑局長通牒 (大正十四年十一月十六日)

刑務所長 少年刑務所長宛
シ今時再ヒ二三刑務所ニ於テ獨自ノ印刷物ヲ發刊セラル、ニ至リタルヲ見ルハ其趣旨タルヤ決シテ貶スヘキニアラスト雖モ其結果ニ於テ之ヲ發刊セサル刑務所ニ於ケル受刑者ノ不平仍テ來ル行刑ノ不統一ハ何ヲ以テ救済セントセラル、ヤ抑々監獄官制第一條ニ刑務所ハ司法大臣ノ管理ニ屬スト規定セラル所以ノモノハ實ニ斯ノ如キ弊害ノ起ラザランヲ期待シタルニ他ナラス故ニ之等諸種ノ理由ヲ綜合シ他所ノ迷惑ヲ考慮セラレ自所ノ便宜ニノミ偏スルコトナキ權爾今此種ノ計畫ヲ爲スニ當リテハ一應本省ニ協議相成候致度候

司法省行刑局長通牒 (大正十四年十一月十七日)
刑務所長 少年刑務所長宛
教誨原簿等ヲ身分帳ニ編綴シ置クノ件通牒
教誨原簿其他受刑者ノ身上ニ關スル文書ノ類ハ當該者釋放後ハ之ヲ身分帳簿中ニ編綴スヘキ義ニ有之候處統計其他諸調査資料ニ供スル等ノ事由ニ依リ之ヲ當該係ニ保存セル向有之候處右ハ受刑者釋放(逃走死亡ノ場合モ含ム)濟ノ上ハ必ス之ヲ身分帳簿中ニ編綴置相成候條致度候

司法省行刑局長通牒 (大正十四年十一月十七日)

刑務所長 少年刑務所長宛
家畜類整理方ニ關スル件通牒
從來家畜類ノ飼養ハ耕耘夫或ハ掃除夫等ヲ使役シ且之カ關係諸帳簿ノ整理方亦區々ニ涉リ居候ニ付テハ爾今左記ニ依リ御取扱相成度候

近時行刑思潮ノ進轉ニ伴ヒ大正十一年九月監獄法第三十一條ヲ擴張解釋シ刑務協會ヲシテ雜誌「人」ヲ發行セシメ其看讀範圍ヲ廣汎ナラシメタル所以ハ當時一部ノ刑務所ニ於テハ之ニ類スル印刷物ヲ發行シ他ノ刑務所ニ於テハ經費其他ノ關係ニヨリ之カ發行ヲ爲サヘルノ狀況ニ有之斯テハ行刑統一ヲ破リ受刑者間ニ不平ヲ惹起スルノ虞アルコト慮リ事ヲ行刑統一ノ見地ヨリ斯ク擴張解釋ヲ爲シタルモノニ他ナラス而シテ其成績愈々見ルヘキモノアルニ際

2996